

大河原土木事務所の記録

平成24年度の記録

4.5

所内全体会議 実施

第1回所内全体会議にて、災害対策警戒配備計画、大規模災害発生時における非常配備、土木部BCPなどについて説明を行いました。

4.9

職員安否確認訓練 実施

大規模災害発生時に備え、安否確認システムを使用した訓練を実施しました。

4.17

第1回 危機管理計画担当者会議 (防災砂防課) 開催

4.21

東北地方太平洋沖地震災害復旧状況写真 展示

おおがわら桜まつりの期間中、白石川スマイルサポーターとのコラボレーションイベントの会場(大河原町葦神堰広場)にて災害復旧状況等の写真パネルを展示しました。



▲災害復旧工事写真パネル展示状況

4.27

蔵王エコーライン((主)白石上山線) 開通

東日本大震災により全面通行止めでしたが応急工事、本復旧工事を早期に完了させていたため冬期閉鎖解除は例年通りに実施。今年はエコーライン開通50周年となる記念すべき年でもあり、併せて蔵王連峰夏山開きも行われました。



▲開通式テープカット

5.20

蔵王エコーラインヒルクライムエコ2012 開催

東日本大震災の影響で2年ぶりの開催でしたが、全国から1,200人を超す出場者となり大会新記録を達成。東北地方太平洋沖地震により一時全面通行止めや路面にクラックが多数発生しましたが、きれいに修復された路面を快適に走行していました。



▲残雪の中を走行する選手たち

5.31

(国)113号 丸森町舘矢間バイパス 開通

東日本大震災の影響で労務、資材の調達が困難になり、供用開始時期が遅れたものの遅延を最小限にとどめ、事業着手から17年の歳月を費やし盛大な式典の下に開通しました。



6.12

H24年度 6.12総合防災訓練 土木部防災訓練 実施

東日本大震災と同レベルの地震及び津波を想定し、発災時における初動対応を確認するための訓練をロールプレイング方式で実施。併せて大河原地方支部防災訓練を実施し、安否確認報告、市町への職員派遣のための管内道路被災状況等の情報提供を行いました。



▲防災訓練の実施状況

6.14→27

H24年度危険ブロック塀等の改善指導 実施

地震発生時に倒壊・破損し、通学時の児童に被害を及ぼす恐れがある危険なブロック塀等の解消のため、市町と連携して改善指導を実施しました。

6.19

6月19日～20日にかけての梅雨前線及び台風4号に伴う洪水により、一級河川阿武隈川水系新川(村田町)において甚大な被害が発生



▲新川の堤防決壊(右岸)状況

7.5

大河原合同庁舎消防訓練 実施

7.11

H24年度 第1次災害査定(雨災) 実施

8.2

第1回「道の駅」防災拠点化事業に係る打合せ会(道路課)

8.20

H24年度インターンシップ実習生 受け入れ



▲現場での実習状況

8.27

H24年度 第5次災害査定(凍上災・雨災)実施

8.28

H24災 新川河川等災害関連事業採択

9.7

第2回「道の駅」防災拠点化事業に係る打合せ会(道路課)

9.14

H24年度第1回職場研修 実施

9.21

H24年度第2回職場研修(現場研修)実施

東日本大震災以来、市町支援として関わってきた亘理町と山元町の現在の復旧・復興状況を把握・調査することを目的に現場研修を実施しました。①震災廃棄物処理施設(亘理処理区) ②仙台湾南部海岸山元海岸(笠野工区) ③(主)相馬亘理線 ④磯浜漁港 ⑤JR常磐線坂元駅を視察しました。(28日には2班目の視察を実施)



▲震災廃棄物処理施設(亘理処理区)

9.25

(一)名取村田線災害復旧工事 完成

東日本大震災後、通行制限していた(一)名取村田線(村田町長谷小屋地内)の災害復旧工事が完了しました。

10.25

復旧・復興事業に関する意見交換会 開催

11.2

(主)南蔵王七ヶ宿線災害復旧工事 完成

東日本大震災後、長期間にわたり全面通行止めとなっていた主要地方道南蔵王七ヶ宿線(七ヶ宿町横川字柏木山地内)の

災害復旧工事が完了。この復旧完了により、東日本大震災による全面通行止め18箇所すべてが解消されました。



▲復旧完了

11.8

情報システムに係る業務継続計画(i-BCP)机上訓練 実施

11.15→16

土木部防災訓練担当養成講座 開催

12.4

第2回 危機管理計画担当者会議(防災砂防課)開催

12.4→6

道路トンネル緊急点検 実施

12.25

市道等における東日本大震災復旧・復興に伴う特定車両通行による道路破損等に関する打合せ会(第1回)

H25.1.8

東日本大震災土木部職員意見交換会 開催(土木部次長, 土木総務課, 事業管理課)

1.17

道路トンネル詳細点検 実施



▲トンネル詳細点検の実施状況

第4回「道の駅」防災拠点化に係る打合せ(道路課)

1.21

大規模地震発生時における大河原地域業務継続計画(BCP)改訂

2.21

第5回「道の駅」防災拠点化に係る打合せ(道路課)

3.7

第3回 危機管理計画担当者会議(防災砂防課)開催

3.11

東日本大震災二周年追悼行事

東日本大震災から二年目の11日、大河原合同庁舎にて追悼行事が執り行われました。多くの人が訪れ、記帳、献花を行い、地震発生の午後2時46分から1分間黙祷し犠牲者の冥福を祈りました。



▲東日本大震災追悼行事

東日本大震災 復旧・復興パネル展 開催



▲復旧・復興パネルの展示状況

(主)亘理大河原川崎線災害復旧工事 完成

東日本大震災後、長期間にわたり片側交互通行となっていた主要地方道亘理大河原川崎線(川崎町支倉字鳥屋沢山)の災害復旧工事が完了しました。



▲復旧完了

4.14

白石川防災パネル展示

一目千本桜がちょうど満開となった白石川河川敷で東日本大震災防災パネルの展示を行いました。



4.26

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期閉鎖が解除され、午前11時に開通しました。



6.12

6.12総合防災訓練

みやぎ県民防災の日に合わせて、大規模地震災害の発生に備えて、総合防災訓練を実施しました。



6.27

角田市採石採取等に関する連絡会議

沿岸部へ土砂等を運搬するダンプが急激に増大したことから、地域住民の安全安心確保のため、角田市で関係者の連絡会議が開催されました。



6.28

国道113号館矢間バイパス全建賞受賞

平成24年5月31日に開通した国道113号館矢間バイパス整備事業が、全日本建設技術協会から全建賞(道路部門)表彰を受けました。



8.9

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の取り組みとして、宮城県建設業協会仙南支部と協働で「道路クリーンキャンペーン」を実施しました。



9.1

9.1総合防災訓練(川崎町)

震災後初めての9.1総合防災訓練が川崎町で開催され、防災砂防課と共同で復旧・復興パネル展を展覧しました。

9.6

国道113号福岡蔵本道路改良事業説明会

平成24年度に着手した国道113号福岡蔵本道路改良事業について、事業説明会を開催しました。

9.20

県道青根蔵王線災害復旧完了

平成23年の台風15号で被災し、通行止めとなっていた県道青根蔵王線の復旧工事が完了し、紅葉シーズンに開通できました。



12.8

建設業協会仙南支部と意見交換会

入札不調や、資材の不足や高騰など建設業の取り巻く状況について、仙南支部の皆さんと意見交換会を行いました。

12.16

東日本大震災 災害復旧工事で完了

東日本大震災で被災した207箇所の道路、河川、橋梁の災害復旧工事が、全て完了しました。



H26.1.30

県道岩沼蔵王線姥ヶ懐道路改良工事説明会

平成24年度に着手した県道岩沼蔵王線姥ヶ懐道路改良事業の計画について、工事説明会を開催しました。

2.15

低気圧による豪雪対応

8日に続き15日の豪雪で、管内の道路で通行止めが発生しました。記録的な豪雪だったため除雪に約1週間を要しました。



3.5

スマイルサポーターと意見交換会

スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。



大河原土木事務所

平成26年度の記録

4.14

白石川復興パネル展示

大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターと共同でイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

4.25

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。



5.26

遠刈田橋，秋山沢橋耐震補強工事完成

復興事業である橋梁耐震補強工事が、国道457号の遠刈田橋，秋山沢橋で完成しました。



6.5→16

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々と協力して、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



6.10→24

基礎調査結果住民説明会

土砂災害警戒区域等の指定促進に向けて、土砂災害危険箇所に関する基礎調査の結果について、白石市内6箇所で開催しました。

6.12

6.12総合防災訓練

「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせて、大規模地震などに備えるため、県庁や合同庁舎の関係機関と連携した総合防災訓練を実施しました。

7.6→12

梅雨前線号及び台風8号による災害

7月6日から12日にかけての梅雨前線号及び台風8号により、七ヶ宿町滑津で188ミリなどの大雨となり、白石川や国道349号で施設の被害が発生しました。



8.8

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部と協働で管内の道路において清掃活動を行い、約270kgのゴミを回収しました。

9.9→12

H26年災害2次査定

7月の梅雨前線号及び台風8号による公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川19箇所、道路1箇所ですべて308,491千円の決定を受けました。



9.19

用地説明会(姥ヶ懐道路改良事業)

管内のビックプロジェクトである主要地方道岩沼蔵王線大師～姥ヶ懐道路改良事業について、用地説明会を開催しました。これにより用地買収を本格的に開始しました。

H27.2.13

沿岸部の復旧・復興事業現場研修会

仙台土木事務所及び宮城県建設技術協会と共催で、沿岸部の復旧復興事業の施工状況について、現場研修会を実施し、管内の市町職員も参加しました。



3.5

スマイルサポーター意見交換会

スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

3.9

清水原橋，川音橋耐震補強工事完成

復興事業である橋梁耐震補強工事が主要地方道白石上山線清水原橋と国道457号川音橋で完成しました。



3.14, 29

白石川河川清掃

白石川において、4月のさくらまつりに向けて、大河原町、柴田町それぞれで、町や地域住民の方々などと協力して河川清掃活動を行いました。



4.12

白石川復興パネル展示

大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

4.13

蔵王山に火口周辺警報が発令

4月13日、仙台管区気象台から蔵王山の火口周辺警報が発令され、火口から概ね1.2kmの範囲が立入規制となりました。



6.3→11

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。

6.12

6.12総合防災訓練

「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせて、大規模地震などに備えるため、県庁や合同庁舎の関係機関と連携した総合防災訓練を実施しました。

6.17

天皇后両陛下 蔵王町御訪問

6.22

蔵王エコーライン開通

6月16日の蔵王山火口周辺警報の解除に伴い、速やかに県道白石上山線の道路付属施設を復旧し、蔵王エコーラインの開通式が行われました。



7.17

一般県道青根蔵王線開通

平成25年10月の台風26号で発生した土砂崩れにより約1kmにわたり通行止めとなっていた県道青根蔵王線が開通しました。



8.7

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに管内の道路において清掃活動を行い、約175kgのゴミを回収しました。

8.28

白石市八宮自治会にて出前講座

白石市八宮自治会約35名を対象に、土砂災害防止法の出前講座を実施し、防災についての認識を深めました。

9.6→11

関東・東北豪雨災害発生

丸森町筆甫で6日～11日までの総雨量573mmを記録。河川・道路に甚大な被害が発生しました。

10.16→11.6

内陸土木・地域事務所合同研修会

東部土木事務所登米地域事務所と合同で、「見て・感じて・学ぶ沿岸被災地復旧・復興研修会」を実施しました。



11.16→12.18

平成27年 災害査定

9月の豪雨災害に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川56箇所、道路15箇所ですべて15億4千万円の決定を受けました。

H28.1.28

H26年 白石川災害復旧工事全完成

平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号で被災した白石川災害復旧工事の全6工区の工事が完成しました。



2.23→24

基礎調査結果住民説明会

土砂災害警戒区域等の指定促進に向けて、土砂災害危険箇所に関する基礎調査の結果について、村田町及び柴田町で住民説明会を実施しました。



3.5

スマイルサポーター意見交換会

スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

3.19

白石川河川清掃

白石川において、4月のさくらまつりに向け、大河原町、柴田町それぞれで、町や地域住民の方々などと協力して河川清掃活動を行いました。



大河原土木事務所

平成28年度の記録

4.10

白石川復興パネル展示

大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。



4.22

蔵王エコーライン開通

今年度は、昨年度とは違い、蔵王山の噴火の兆候は確認されませんでしたので、例年どおり4月下旬に蔵王コーラインの開通式が行われました。

6.3→11

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



6.4

(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区トンネル着工式

仙南地域の産業振興や広域防災のための道路ネットワーク整備を推進するトンネル工事等の着工式が6月4日に現地において催されました。

6.10

6.12総合防災訓練

「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせて、大規模地震などに備えるため、県庁や合同庁舎の関係機関と連携した総合防災訓練を実施しました。

8.5

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに管内の道路において清掃活動を行い、約220kgのゴミを回収しました。

9.5→9

H28年度夏期実習生の受け入れ

大学等で主に土木・建築学を専攻している学生を実習生として受け入れ、優秀な技術者の養成及び土木行政に対する理解の醸成を図りました。



9.16

H27年 円田道路災害復旧工事完成

平成26年7月の梅雨前線豪雨及び台風8号で被災した(主)白石上山線の道路災害復旧工事が完成しました。



11.15→11.25

内陸土木・地域事務所合同研修会

内陸4土木事務所と合同で、「見て・感じて・学ぶ沿岸被災地復旧・復興研修会」を実施しました。



10.19→11.2

H28年 災害査定

8月の台風9号及び10号災害に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川4箇所で89百万円の決定を受けました。



H29.1.19

被災建築物応急危険度判定技術者講習会

地震被害を受けた建築物について、その後の余震等による倒壊や、屋根や外壁等の落下の危険性を判定するための講習会を開催し、建築士の方など25名が受講しました。

2.23→28

基礎調査結果住民説明会

土砂災害警戒区域等の指定促進に向けて、土砂災害危険箇所に関する基礎調査の結果について、角田市及び丸森町で住民説明会を実施しました。



3.8

スマイルサポーター意見交換会

スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

3.18

白石川河川清掃

白石川において、4月のさくらまつりに向け、大河原町、柴田町それぞれで、町や地域住民の方々などと協力して河川清掃活動を行いました。

4.16

白石川復興パネル展示

大河原桜まつり開催に合わせて白石川右岸で、スマイルリバーサポーターとともにイベントを実施し、県では東日本大震災の復旧状況等のパネル展示を行いました。

4.21

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

6.8→14

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



7.31,8.2

親子現場見学会

姥ヶ懐トンネル工事現場を、小学生の親子を対象に、見学会を実施しました。



8.4

菅生スマートIC連結許可

菅生スマートICと接続する県道仙台村田線の連結許可が、国土交通省より出されました。



8.21→25

H29年度夏期実習生の受入

大学で主に土木を専攻している学生を実習生として受け入れ、優秀な技術者の養成及び土木行政に対する理解の醸成を図りました。

12.18→22

第1次災害査定

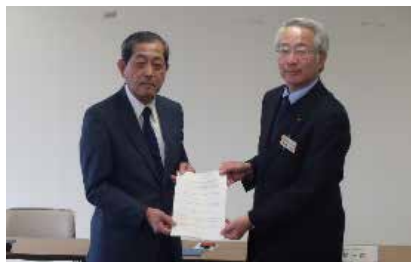
10月の台風21号に対する公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われ、河川8箇所、道路2箇所で1億95百万円の決定を受けました。



12.27

協定締結

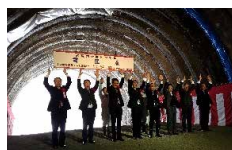
土砂災害警戒情報が出された際の、土砂災害危険箇所の点検について、みやぎ中小建設業協会と協定を締結しました。



H30.1.24

志賀・姥ヶ懐トンネル貫通式

(主)岩沼蔵王線の志賀・姥ヶ懐トンネルL=1,285mの工事を平成28年6月に着工し、1年7ヶ月かけて貫通することができました。



1.30

蔵王山噴火警戒レベル2

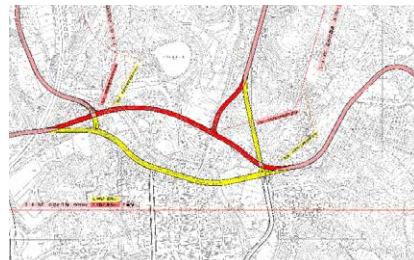
蔵王山の火山活動が活発となり、2年9ヶ月振りに噴火警戒レベルが1から2にあがり、対応を行うとともに、レベルアップに備え対応手順の確認を行いました。



2.23

(都)小池石生線都市計画決定

村田町内の都市計画道路「小池石生線」の都市計画変更決定がなされました。



2.27

中島踏切開通

(主)白石柴田線の東北本線中島踏切について、平成29年8月から全面通行止めにより拡幅工事を行っていましたが、完成により供用開始しました。



3.8

スマイルサポーター意見交換会

スマイルサポーターの皆様との意見交換会を開催しました。日頃の活動状況や意見をお聞きする貴重な機会となりました。

3.17,24

白石川河川清掃

白石川において、4月のさくらまつりに向けて、大河原町、柴田町それぞれで、町や地域住民の方々などと協力して河川清掃活動を行いました。



大河原土木事務所

平成30年度の記録

4.27

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

5.7→8, 6.5→15

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間(6月+5月拡大)に、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



6.27

平家川河川改修暫定完成

昭和59年度より進めてきた平家川改修事業について、計画延長1,770mのうち下流工区の1,450mが完成しました。



6.29

北原尾外舗装補修工事完成

蔵王町内の(国)457号北原尾地区(写真)ほか6地区の舗装補修工事が完成しました。



8.2

夏休み親子現場見学会

小学生を対象に、土木事業への理解と興味を持ってもらえるよう、宮城県建設業協会仙南支部と共催し、蔵王町の松川で親子現場見学会を開催しました。

8.8

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに、管内の道路において清掃活動を行い、約270kgのゴミを回収しました。

11.20

大鷹沢大町道路改良工事完成

(主)白石丸森線の白石市大鷹沢大町地区で、計画延長1,000mのうち白石市側の260mの工事が完成しました。



11.27

H29年 大内道路災害復旧工事完成

平成29年10月の台風21号により被災し通行止めとなっていた(一)金山新地停車場線の丸森町大内地区の道路災害復旧工事が完成しました。



12.28

菅生スマートIC整備工事着手

東北縦貫自動車道の村田ICと仙台南ICの中間に位置する菅生PAに連結する「菅生スマートIC」の整備工事に着手しました。



R1.1.21

平成29年 半田川外災害復旧工事完成

平成29年10月の台風21号により被災した半田川(写真)と桜井川の計4工区の河川災害復旧工事が完成しました。



1.31

大内外舗装補修工事完成

丸森町内の(国)113号大内地区と(一)丸森梁川線峠地区(写真)の舗装補修工事が完成しました。



3.15

松川流路工工事(床固工左岸)完成

蔵王山の噴火対策として整備を進めている松川流路工のうち、18号床固工(左岸側)の工事が完成しました。



3.16,23

白石川河川清掃

毎年4月に白石川で開催される「さくらまつり」に向けて、大河原町と柴田町のそれぞれ、町や地域住民の方々と協力して河川清掃活動を行いました。



3.18

雉尾川樋管工事完成

雉尾川改修事業の築堤に伴う樋管新設(左岸側)と取付護岸(左右岸)の新設工事が完成しました。



4.26

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除され、開通式が行われました。

6.5→13

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間(6月)に、市町の職員や砂防ボランティアの方々とともに、管内2市7町の土砂災害危険箇所のパトロールを実施しました。



7.30

夏休み親子現場見学会

小学生を対象に、土木事業への理解と興味を持ってもらえるよう、宮城県建設業協会仙南支部と共催し、岩沼市～村田町の志賀姥ヶ懐トンネルで親子現場見学会を開催しました。



9.5

道路クリーンキャンペーン

「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部とともに、管内の道路において清掃活動を行い、約158kgのゴミを回収しました。



9.27

館矢間外舗装補修外工事完成

丸森町内の(国)113号館矢間地区(写真)ほか3地区の舗装補修工事が完成しました。



10.12→13

台風19号による被害発生

10月12日から13日にかけての台風19号(令和元年東日本台風)により、管内では道路94件、河川193件(国災)に及ぶ甚大な被害が発生しました。



12.21

大師・姥ヶ懐「志賀姥ヶ懐トンネル」開通式

平成24年度から事業を進めてきた(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐道路改良事業について、志賀姥ヶ懐トンネルを含む岩沼市大師地区から村田町姥ヶ懐地区までの3.7km区間が開通しました。



R2.1.10

支倉道路改良工事着手

平成28年度から各種測量設計や仙台市との協議等を進めてきた(国)286号の支倉地区で、道路改良工事に着手しました。



3.11

大鷹沢大町道路改良工事完成

沿道のため池を地盤改良により埋め立てながら道路改良を進め、2工区・約500m区間が完成しました。



3.24

小田川築堤工事完成

市道沼南橋橋梁工事に先立ち、平成30年度から小田川築堤工事に着手し、一部が完成しました。



3.27

船岡歩道橋補修工事完成

隣接する小学校と、通学路の迂回路や安全管理について、綿密に連絡調整を図りながら万全の対策を行い、工事を完成させました。



大河原土木事務所

令和2年度の記録

5.11

蔵王エコーライン開通

3月から除雪を始めていた県道白石上山線蔵王エコーラインの冬期通行止めが解除されました。



5.28

土木部災害功労者表彰式

令和元年東日本台風による被災箇所の応急工事に顕著な役割を果たした建設企業に対して管内16社に感謝状を授与しました。



6.9→11

土砂災害防止月間パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、市・町の職員や砂防ボランティアと合同で、管内2市5町の土砂災害危険箇所(19箇所)のパトロールを実施しました。



6.26,30

R1年東日本台風に伴う河川災害復旧事業計画説明会

内川水系に係る東日本台風の河川復旧計画等について、国土交通省南部復興事務所、県、丸森町の合同で、住民説明会を開催しました。2日間で62名の住民が参加しました。



7.21

建設業・若手人材育成のための災害復旧現場見学会

宮城県建設業協会仙南支部(主催)と国、県との合同で、柴田農林高校生徒を対象に、道路災害復旧工事の現場見学会を開催しました。



9.8

道路クリーンキャンペーン

8月の「道路ふれあい月間」の一環として、宮城県建設業協会仙南支部と合同で、道路清掃(道路延長約37km)を実施し、約285kgのゴミを回収しました。



9.23

破堤3河川本復旧工事完了

令和元年東日本台風で破堤した高倉川(角田市)、半田川(角田市)、斎川(白石市)の3河川について、23日までに本復旧工事が完了しました。

10.5

令和2年災害査定

7月28日～29日の豪雨により被災した土木施設について災害査定を受験しました。若手技術職員の貴重な経験を積むことができました。



10.15

スマイルサポーター感謝状贈呈

環境美化の功績が認められ、角田市横倉地区の住民に国土交通大臣から感謝状が授与されました。また、白石市上原自治会と北船岡河川敷公園の景観を良くする会にも、県から感謝状が授与されました。

11.16

県道大河原高倉線植栽活動

宮城県建設業協会仙南支部と合同で県道大河原高倉線大河原合同庁舎前の花壇に植栽しました。パンジーとチューリップ(約2千株)を植栽しました。



R3.2.16

七ヶ宿町関地区道路融雪施設完成

七ヶ宿町関地区で町の賑わい拠点施設(入浴・図書館等)と連携して整備していた道路融雪施設が完成しました。今後、町・入浴施設の熱を利用して、道路の融雪を行っていきます。



2.14

福島県沖地震(2月13日発生)のブロック塀等緊急点検実施

3.11

白川内親災害防除事業完成

県道白石柴田線白石市白川内親地区の災害防除事業について完成しました。大雨等による道路の安全を確保することができました。



仙台土木事務所の記録

平成24年度の記録

4.2

新規採用・自治法派遣職員配属 実施
事務所に新規採用職員2名が配属。また復興・復旧事業の即戦力として9県、22名の自治法派遣職員が配属されました。

4.6

三陸沿岸道路 仙塩道路四車線化事業着工式 実施

三陸縦貫自動車道・仙塩道路(仙台港北IC～利府中IC間、延長7.8キロ)の4車線化工事の着工式が多賀城市八幡地内において実施されました。

4.8

JR仙石線多賀城地区連続立体交差高架切替記念式典 実施

4.23→28

(一)荒浜港今泉線地元説明会 開催

5.1

新任期付き職員配属 実施

公共土木施設復旧に伴う業務量増加に対応するために採用され、土木部に配属された25名の技術職員のうち7名が仙台土木事務所に配属されました。

5.3

平成24年5月3日～4日にかけての大雨対応



▲道路被災状況

6.7

七ヶ浜町菖蒲田海岸災害復旧事業着工式 実施

6.20

平成24年台風4号による大雨対応

6.21

H24年度「仙台地方管内復旧・復興事業連絡調整会議」開催



▲連絡調整会議開催状況

7.9→13

H24年度 第1次災害査定 受検

7.10

(都)築港大通線、(都)八幡築港線復興交付金事業地元説明会(26・27日)開催

7.17→20

H24年度 第2次災害査定 受検

7.26→27

(一)荒浜港今泉線事業説明会 開催

7.27

沿岸3土木事務所復旧・復興事業等連絡調整会議 開催
兵庫県県土整備部現地調査 実施

7.30→8.2

蒲生北部地区再整備説明会 開催

8.5

岩沼市玉浦西地区防災集団移転事業起工式 実施

8.11

仙台港多賀城地区緩衝緑地災害復旧事業説明会 開催

8.21

七北田川(蒲生南部地区)事業概要説明 開催

8.23

静岡県治水砂防協会現地調査 実施

8.27

岐阜県議会土木委員会県外視察実施

8.27→31

平成24年度 第5次災害査定 受検

8.28

(一)大衡仙台線・宮床道路改良事業説明会 開催

9.3

自治法派遣職員の継続派遣要請 実施



▲9/4 兵庫県での報告状況

9.4

小白浜地区海岸災害復旧事業説明会 開催

9.8

(都)駅前南通線((一)岩沼停車場線)都市計画決定説明会 開催

9.12/19/20

(一)荒浜港今泉線・荒浜一・三丁目地区測量結果及び用地説明会 開催

9.13

坂元川・戸花川河川災害復旧事業説明会 開催

9.18/21/24

南貞山運河・増田川河川災害復旧事業説明会 開催

9.26
市名坂小学校出前講座 実施

9.27
朴島・野々島海岸災害復旧事業
説明会 開催

10.2→4
砂押川外2河川復興事業計画説
明会 開催

10.5
沿岸3土木事務所復旧・復興事
業等連絡調整会議 開催

10.17
山口県議会・県外調査視察 実施

10.19
三重県議会・県外調査 実施

10.19,22,24
五間堀川河川災害復旧事業計画
説明会 開催

10.23
長野県議会復興工事現場視察 実施

10.24
(一)名取村田線・高館川上道路改
良事業説明会 開催

10.25
(主)大和松島線・西川橋橋梁災害
復旧工事説明会 開催
山梨県建設技術協会・現地調査
実施

10.31
(都)築港大通線・(都)八幡築港線
道路計画説明会 開催
南貞山運河・増田川河川災害復
旧事業説明会(飯塚地区) 開催

11.1
南貞山運河・増田川河川災害復旧
事業説明会(小塚原地区)開催

11.5
愛知県副知事復旧状況現地調査
実施

(一)岩沼海浜緑地線・押分工区復
興事業用地説明会 開催

11.7
黒川高等学校現場見学会 実施

11.13
山形県建設業協会青年部現場研
修会 実施

11.22
宮城県高等学校工業研究会土木
系分科会現場見学会 実施

11.26
兵庫県・理事現地調査 実施

11.27
(都)植松田高線・道路改築事業地
元計画説明会 開催

11.28
七ヶ浜町災害復旧・復興事業説
明会 開催

12.4/7
茂庭台小学校・出前講座 実施

12.5
七北田川(右岸)河川災害復旧事
業説明会 開催

12.5/26・1/23/25
(都)大手町下増田線・増田道路改
築事業工事説明会 開催

12.6
(主)泉塩釜線・東玉川工区整備に
向けた地元意見交換会 開催

12.17→18
(都)八幡築港線復興交付金事業
計画地元説明会 開催

12.18→19
(一)荒浜港今泉線復興交付金事
業地元説明会 開催

12.21
震災復興に伴う盛土材連絡調整会議
(仙台地区市町連絡調整会議)開催

12.27
(主)塩釜吉岡線・菅谷道路改良事
業説明会 開催

H25.1.24
群馬県土整備部現地調査 実施

1.27
(主)相馬巨理線(山寺・坂元工区)復
興交付金事業地元説明 実施

1.29
岩沼海浜緑地復旧・復興着工式
実施

1.29→2.1
愛知県建設部被災・復興状況等
現地調査 実施

2.1
山元町太陽ニュータウン町道・
浅生原下宮前南線 供用

2.7
(都)築港大通線・(都)八幡築港線
道路計画説明会 開催

2.13→14
3.11伝承・減災プロジェクト「全
国へ発信!災害に強いまちづくり
宮城モデル」他県説明 実施

2.15
(主)塩釜巨理線(早股・寺島工区)
復興交付金事業説明会 開催
(主)大和松島線・西川橋橋梁災害
復旧工事用地説明会 開催

2.19
(主)塩釜七ヶ浜多賀城線・貞山橋
桁洗浄業務現場見学会 実施

2.21
(一)岩沼海浜緑地線(二の倉工
区)事業説明会 開催

4.13

【復興】東玉川歩道設置事業に関する事業説明会開催

5.3→5

「広瀬川で遊ぼう」を開催

親子と楽しめるイベントとアトラクションを通して広瀬川への親しみと河川行政への理解の向上を目的として開催し、約3,800名の方に来場いただきました。



5.17

菖蒲田地区海岸災害復旧工事安全祈願祭開催

七ヶ浜町菖蒲田海岸において災害復旧工事に着手しました。

- ・天端高TP6.8m(震災前計画5.0m)
- (一部区間完成:平成26年2月6日)

6.8,29

砂押川災害復旧事業に関する事業説明会開催

7.18→20

七北田川災害復旧事業に関する事業説明会開催

7.30

震災復興に伴う盛り土材連絡調整会議(仙台地区市町連絡調整会議)を開催

盛り土材の使用見込み量や、利用調整のための方策の1つである土砂ストック場所などについて、関係機関で情報を共有しました。



7.31

大衡仙台線 小野工区開通式を開催

平成7年度より整備を進めてきた小野工区の、未供用区間1.3kmが開通しました。今回の開通で大和町と仙台市内を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。



10.5

【復興】相馬巨理線に関する事業説明会を開催

10.9

七ヶ浜町・塩釜市との発生土利用に関する協定を締結

「花刈浜笹山地区防災集団移転促進事業(七ヶ浜町)」により発生する建設発生土を、「浦戸地区復興事業(塩釜市)」で、約4万㎡を利用するための協定を調印しました。



10.24

【復興】相馬巨理線(巨理町分)に関する事業説明会を開催

11.6

【復興】松島橋架け替えに関する事業説明会を開催

11.17

仙石線多賀城地区連続立体交差事業整備完了記念式典を開催

平成16年度より進めてきた事業について、多賀城駅付近約1.8km区間の鉄道の高架化、駅舎部を含む施設整備が完了し、供用を開始しました。

12.11

【復興】高城川に関する事業説明会を開催

H26.2.13

【復興】荒浜港今泉線(鳥の海工区)に関する事業説明会を開催

2.20

【復興】山下停車場線に関する事業説明会を開催

2.26

松ヶ浜海岸災害復旧工事に関する事業説明会を開催

3.19

花刈浜海岸災害復旧工事に関する事業説明会を開催

3.21

日桜植樹祭を開催

小林製薬(株)と県の主催で「第2回桜の植樹祭」が岩沼海浜緑地南ブロックで行われました。

今後も貞山運河周辺への桜植樹は継続的に行われる予定です。



3.25

(都)駅前大通線(巨理町)開通

巨理駅西口駅前広場から国道6号に至る路線(全体延長1,125m)が開通しました。駅利用者や通行車両等の利便性や安全性が向上するとともに、市街地の混雑緩和など、生活環境の改善が図られます。



仙台土木事務所

平成26年度の記録

4.13

(主)泉塩釜線 南宮道路改良事業に関する事業説明会を開催

4.24

塩釜朴島海岸災害復旧事業に関する事業説明会開催

5.27

七北田川災害復旧事業に関する事業説明会を開催

6.5

【復興】(主)塩竈巨理線 寺島早股工区に関する用地説明会開催

6.6,8,14

中貞山運河災害復旧事業に関する用地契約会を開催

6.12

【復興】(一)荒浜港今泉線(鳥の海)工区に関する用地説明会開催

6.16

五間堀川河川災害復旧工事に関する安全祈願祭開催

着手にあたり、災害復旧工事の施工会社7者の共催で、安全祈願祭が実施されました。関係者等約50名が参加して神事が執り行われ、参加者全員で工事の安全を祈願いたしました。

6.17

五間堀川河川災害復旧工事の松保存に関する計画説明会を開催

6.19

砂押川外河川災害復旧工事(第1420号)に関する安全祈願祭を開催

8.4

【復興】(都)八幡築港線・築港大通線に関する事業説明会を開催

10.7

南貞山運河河川災害復旧事業に関する第1回共有地用地説明会を開催

10.25

(主)泉塩釜線 南宮道路改良事業に関する事業説明会を開催

11.18

南貞山運河河川災害復旧事業に関する第2回共有地用地説明会を開催

12.20

七北田川河川災害復旧事業に関する事業説明会を開催

12.22

川内沢放水路建設事業の通水式
事業着手から約20年の歳月をかけ整備を進めてきた放水路が概成したことから、名取・岩沼両市や工事関係者が出席し通水安全祈願祭を行い、流水の安全な流下を祈念しました。

H27.1.15

坂元川・戸花川河川災害復旧工事に関する安全祈願祭を開催

1.16

【復興】岩沼海浜緑地津波防災公園整備事業の都市計画変更に関する説明会を開催

1.17

七北田川河川災害復旧事業に関する事業説明会を開催

1.22

南貞山運河河川災害復旧事業に関する事業認定説明会を開催

1.28

【復興】岩沼海浜緑地津波防災公園整備事業に関する事業説明会を開催

1.28

高城川河川改修事業に関する事業説明会を開催

1.30

【復興】(都)八幡築港線(牛生地)に関する事業説明会を開催

1.30

(主)岩沼蔵王線改良事業に関する共有地用地説明会を開催

2.14

(主)岩沼蔵王線改良事業に関する共有地用地契約会を開催

2.16

(一)大衡仙台線改良事業(宮床橋梁下部工工事)に関する安全祈願祭を開催

一般県道大衡仙台線は仙台北部地域と仙台市中心部とを結び、みやぎの更なる飛躍を支える道路です。このうち大和町内の宮床工区約2.3kmについて、平成30年度中の供用を目標に本格的なバイパス工事に着手しました。

2.27

五間堀川河川災害復旧事業に関する共有地用地説明会を開催

3.12

(主)岩沼蔵王線改良事業(岩沼市分)の土地収用に関する事業説明会を開催

3.13

(主)岩沼蔵王線改良事業(村田町分)の土地収用に関する事業説明会を開催

3.16

五間堀川河川災害復旧工事の松保存に関する事業説明会を開催

3.18

(一)山下停車場線改良事業に関する事業説明会を開催

3.19

五間堀川河川災害復旧事業の土地収用に関する事業説明会を開催

4.12

梅田川・藤川河川愛護会早朝一斉清掃への参加

4.19

【復興】増田川(広浦)築堤護岸工事用地説明会(31名共有地)を開催

4.22

【復興】砂押川築堤工事説明会を開催

4.25

広瀬川1万人プロジェクトの開催

6.6

川内沢川放水路竣工式を開催

事業着手から約20年の歳月をかけた川内沢川放水路が完成したことから、竣工式を行いました。来賓として西村国土交通副大臣、中野参議院議員をはじめ県議会議員、地元選出の県議会議員、地元関係者など約100名の方々に出席いただきました。



6.26

【復興】岩沼海浜緑地避難道路用地説明会を開催

7.10

【復興】(主)塩釜巨理線閉上道路事業説明会を開催

7.22

【復興】(都)八幡築港線・築港大通線進捗説明会を開催

8.5

みやぎふれあいパークプログラムサポーター認定証交付式を開催

宮城県総合運動公園のふれあいサポーターを認証しました。

8.12

(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐道路用地説明会(47名共有地)を開催

9.1

【復興】塩竈市港町地区復興事業進捗状況説明会を開催

9.2

(都)八幡築港線芦畔工区4車線供用開始

(都)八幡築港線芦畔工区600mが4車線供用開始しました。



9.29

【復興】(主)相馬巨理線復興道路用地説明会を開催

(主)相馬巨理線復興道路事業による用地買収のスケジュール等について説明会を開催しました。

10.8

【復旧】七北田川災害復旧 蒲生地区用地説明会(日和山共有地等)を開催

11.16→12.18

H27年 災害査定

平成27年9月9日から11日にかけての関東・東北豪雨により、管内北部の黒川郡、仙台市泉区を中心に甚大な被害が発生し、現地査定の結果95箇所、約48億円が決定しました。



11.25

【復興】(主)相馬巨理線復興道路用地契約会を開催

12.1

(主)泉塩釜線南宮工区4車線供用開始

多賀城ICアクセス道路の(主)泉塩釜線が4車線供用開始しました。

12.18

(主)仙台三本木線落合相川交差点改良供用開始

H28.1.28

【復興】(都)山下駅前線山下駅前道路用地契約会を開催

2.5

【復興】(主)塩釜巨理線閉上道路用地説明会を開催

3.5

【復興】仙台湾南部海岸完成式を開催

平成28年3月現在、直轄施工区間約29kmの9割以上が完成し、平成28年度内に完成予定となったことから完成式を行い、直轄代行区間の引き受けを行いました。

3.19

【復興】貞山運河「桜植樹」を開催

多賀城市貞山公園を会場に桜植樹を開催しました。



3.21

(主)塩釜巨理線下増田道路全線供用開始

仙台土木事務所

平成28年度の記録

4.10

梅田川・藤川河川愛護会早朝一斉清掃への参加

4.23

広瀬川1万人プロジェクトの開催

一般市民1,167名が参加し、河川清掃を行いました。



5.3→5

広瀬川で遊ぼうを開催

関係機関との共同開催、河川行政への理解向上を目的として開催しました。



6.28

スマイルサポータープログラムサポーター認定証交付式を開催

スマイルロード3団体・スマイルリバー2団体、新規サポーターを認証しました。

6.30

相馬亘理線橋梁災害復旧工事事業説明会を開催

7.29

菖蒲田海水浴場プレオープン

東日本大震災以後、休止していた菖蒲田海水浴場について、海岸堤防の復旧が進み、来年度の本格オープンを前にプレオープンしました。



9.9-10

五間堀川災害復旧事業用地契約会を開催

10.21

佐手川砂防事業の完成

溪岸山腹斜面の崩壊等の被害を受け、山腹崩落土砂の流出防止のため、砂防堰堤工、山腹工を整備し事業が完了しました。



12.19

塩釜亘理線 早股寺島工区の供用開始

県と岩沼市により平成24年度から整備を進めてきた、主要地方道塩釜亘理線早股寺島復興道路が完成し供用開始しました。



12.26

川平の1急傾斜地の崩壊対策事業の完成

平成27年9月11日に発生した関東・東北豪雨により被災を受けた川平の1急傾斜地の崩壊対策事業が完成しました。



H29.2.22

五間堀川河川災害復旧工事(その5)の完成



3.25

(都)大手町下増田線開通式を開催

県と名取市により平成19年度から整備を進めてきた、都市計画道路大手町下増田線が完成し開通式を開催し、同日から供用開始しました。

来賓者による、くす玉開披とテープカットの後、地域にお住まいの方々が中心となった「渡り初め」が盛大に執り行われました。



3.25

岩沼海浜緑地開園式を開催

工事の完成に伴い開園式を開催しました。3月26日から一般開放。開園イベントとして、少年野球チームを招待した野球教室を開催しました。



3.26, 28

七北田川災害復旧事業蒲生地区用地契約会を開催

4.9

梅田川・藤川河川愛護会早朝一斉清掃への参加

5.3→5

広瀬川で遊ぶを開催

関係機関との共同開催、河川行政への理解向上を目的として開催しました。



5.22

松ヶ浜地区海岸災害復旧工事の完成



5.29

七北田川クリーン運動の開催

7.14

菖蒲田復旧・復興事業竣工式を開催

海岸堤防・復興道路の約9割が完成し、菖蒲田浜海浜公園の整備も完了したことから、七ヶ浜町と共催で竣工式典を開催しました。

昨年度にプレオープンした菖蒲田海水浴場については、翌日からフルオープンしました。



7.28

赤井江橋の供用開始

社会資本整備総合交付金(復興)事業で整備を進めてきた一般県道岩沼海浜緑地線の赤井江橋L=15mが完成し、供用開始しました。



9.13

スマイルサポーター功績者表彰式を開催

スマイルロード8団体、スマイルリバー1団体に対し、知事感謝状を贈呈しました。



9.20

二の倉道路改良工事の完成

平成24年度から避難路として整備を進めてきた(一)岩沼海浜緑地線の復興道路L=362mが完成し、供用開始しました。



10.11

川内沢川の完成

川内沢川河川災害復旧工事(その6)L=372.5mが完成し、橋梁6橋の架け換えを含む災害復旧区間の全延長L=3,390mが完成しました。



H30.1.30

戸花川河川災害復旧工事のその2工区完成

戸花川河川災害復旧工事の一部区間が完成しました。引き続き全区間の完成に向けて、他工区の工事を進めてまいります。



2.17

明治潜穴公園リノベーション事業着工式を開催

岩沼海浜緑地公園(北ブロック)にて桜の植樹を実施しました。

3.6

築港大通線の完成

地盤沈下による浸水対策として、平成23年度より高上道路として整備を進めてきた(都)築港大通線L=300mの区間が完成しました。



3.17

貞山運河「桜」植樹会を開催～復興・そして未来へ～in岩沼海浜緑地公園

岩沼海浜緑地(北ブロック)にて桜の植樹会を実施し、寄附提供者やボランティア、地元町内会の方々と55本の桜を植樹しました。

3.23

西川橋の供用開始

伸縮装置、支承の損傷に加え、両橋台基礎杭頭部がせん断破壊を起こすなど大きな損傷が確認されていた西川橋L=109.6mの架設が完了し、供用開始しました。

仙台土木事務所

平成30年度の記録

5.3→5

「広瀬川で遊ぼう」を開催

関係機関との共同開催で、河川行政への理解向上を目的として「広瀬川で遊ぼう」を開催しました。

会場では、パネル展示等を行い、河川行政について理解を深めていただきました。

5.21

二級河川七北田川水系南貞山運河河川災害復旧工事の完成 仙台市宮城野区蒲生地内

南貞山運河河川災害復旧事業の一部区間(L=1.8km区間)が完成しました。

引き続き、他区間の災害復旧工事を進めています。

6.7

(国)346号 松島町根廻地内社会資本整備総合交付金事業(復興枠)の完了

経年劣化したモルタル吹付けを改修する災害防除工事が完成しました。

この工事の完成により平成29年度から進めてきた根廻地区の社会資本整備総合交付金事業(復興)が完了しました。



6.29

(主)岩沼蔵王線 岩沼市小川地内小川自歩道設置事業の完了

歩道が未整備の岩沼市小川地区～長岡地区において、通学生及び自転車利用者の安全確保のための自転車歩行者道整備(L=2.5km)を進めてきました。

この工事の完成により平成15年度より進めてきた事業が完了しました。

7.17

二級河川七北田川水系七北田川河川災害復旧工事の完成 仙台市宮城野区蒲生地内

七北田川河川災害復旧事業の一部区間(L=1.6km区間)が完成しました。

引き続き、他区間の災害復旧工事を進めています。

7.25

2018夏休み!小学生と保護者の【親子現場見学会】を開催

将来の建設産業を担う人材の確保・育成を目的として、建設業協会と共催で「親子現場見学会」を開催しました。



7.29

第17回2018ラブリバー梅田川フェスティバルへの参加

梅田川浄化会が主催する「ラブリバー梅田川フェスティバル」へ参加しました。

フェスティバルでは、マーチングバンドや地元小中学生による吹奏楽など、様々な催しが披露されました。

9.4

スマイルサポーター功績者表彰式を開催

スマイルロード・サポーター16団体、ふれあいサポーター1団体に対し、知事感謝状を贈呈しました。

9.4

二級河川砂押川水系砂押川外2河川河川災害復旧事業の完了 多賀城市大代地内

砂押川外2河川河川災害復旧工事L=40mが完成しました。

この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=3,570mの砂押川外2河川河川災害復旧事業が完了しました。

11.28

二級河川高城川水系高城川河川災害復旧事業の完了 松島町高城地内

高城川河川災害復旧工事(陸閘1基)が完成しました。

この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=730mの高城川河川災害復旧事業が完了しました。

12.10

(主)相馬巨理線 山元町坂元地内坂元道路改良工事の完成

山元町坂元地内の(主)相馬巨理線では約1kmの道路盛土が完成しました。また、戸花川へは上部工が架設されました。

引き続き、舗装工事及び他区間の工事を進めています。

R1.3.19

(主)塩釜吉岡線 大和町鶴巣鳥屋地内車橋の供用開始

平成24年度から工事を進めてきた車橋L=48mの供用を開始しました。



3.22

一級河川阿武隈川水系五間堀川河川災害復旧事業の完了 岩沼市寺島地内

五間堀川河川災害復旧工事が完成しました。

この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=7.5kmの五間堀川河川災害復旧事業が完了しました。



3.27

二級河川七北田川水系仙台海川河川災害復旧事業の完了 仙台市泉区八乙女地内

仙台海川河川災害復旧工事L=317mが完成しました。

この工事の完成により平成23年度から進めてきた仙台海川河川災害復旧事業の全てが完了しました。

年次ごとの復旧・復興トピックス

復旧・復興進捗状況

土木部各所属の活動記録

復旧・復興事業完成事例

復興フォーラム開催記録

資料編

5.24

七ヶ浜海岸花瀧浜地区海岸災害復旧事業の完了 七ヶ浜町花瀧浜地内

七ヶ浜海岸花瀧浜地区の災害復旧工事が完成しました。
この工事の完成により平成27年度から進めてきたL=268mの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。



5.29

(主)塩釜巨理線 巨理町荒浜地内社会資本整備総合交付金(復興枠)事業の完了

巨理大橋の下部工の耐震補強工事が完成しました。
この工事の完成により平成23年度から進めてきた巨理大橋耐震補強事業が完了しました。

5.31

(主)塩釜巨理線 名取市関上地内社会資本整備総合交付金(復興枠)事業の完了

関上大橋の下部工の耐震補強工事が完成しました。
この工事の完成により平成24年度から進めてきた関上大橋耐震補強事業が完了しました。

7.10

菖蒲田海岸ビーチクリーン活動を実施

菖蒲田海水浴場の海開きに先立ち、子どもたちが安心して砂浜を走れるようビーチクリーン活動を実施しました。

7.18

(主)奥松島松島公園線 松島町手樽地内社会資本整備総合交付金事業(復興枠)の完了

経年劣化したモルタル吹付けを改修する災害防除工事が完成しました。
この工事の完成により平成29年度から進

めてきた手樽地区の社会資本整備総合交付金事業(復興枠)が完了しました。

8.2

2019夏休み!小学生と保護者の【親子現場見学会】を開催

将来の建設産業を担う人材の確保・育成を目的として、建設業協会と共催で「親子現場見学会」を開催しました。

8.31

(一)松島停車場線 松島町高城地内松島橋(災害復旧事業)の上部工架設完了

東日本大震災で被災し、架替えを行う松島橋の上部工の桁架設が完了しました。
引き続き、松島橋の災害復旧工事を進めています。



9.26

(主)相馬巨理線 山元町坂元地内(主)相馬巨理線 坂元工区の一部区間供用開始

平成24年度から事業を進めている相馬巨理線の復興交付金事業において、福島県境からL=790m区間の供用を開始しました。

10.23

一級河川名取川水系北貞山運河河川災害復旧事業の完了 仙台市若林区藤塚地内

北貞山運河河川災害復旧工事(その2)のL=4.5kmが完成しました。
この工事の完成により平成26年度から進めてきたL=5.0kmの北貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

12.9~

台風19号による災害査定を受検

10月11日から13日にかけての台風19号の被災による災害査定を受検しました。
仙台土木事務所では、2次査定~7次査定まで河川災害89件、道路災害20件、都市公園災害4件の合計113件を受検しました。

R2.1.21

一級河川名取川水系増田川河川災害復旧事業の完了 名取市小塚原地内外

増田川河川災害復旧工事L=97mが完成しました。
この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.9kmの増田川河川災害復旧事業が完了しました。

3.19

一級河川名取川水系中貞山運河河川災害復旧事業の完了 名取市関上地内外

中貞山運河河川災害復旧工事L=259mが完成しました。
この工事の完成により平成25年度から進めてきたL=1.6kmの中貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

3.21

貞山運河「桜」植樹会の開催 名取市関上地内

災害復旧事業が完了した中貞山運河沿いに官民連携で桜を173本植樹しました。
桜を植樹することで運河に新たな景観を創出し、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに、津波意識の醸成や津波体験の伝承を目的としています。



3.26

野々島地区海岸毛無崎地先海岸災害復旧事業の完了 塩竈市浦野々島地内

毛無崎地先海岸の災害復旧工事が完成しました。
この工事の完成により平成29年度から進めてきたL=0.42kmの海岸防潮堤の災害復旧事業が完了しました。

仙台土木事務所

令和2年度の記録

5.18

Web会議を開催(主)相馬亘理線復興交付金事業

働き方改革の一環として、打ち合わせなどに要する移動時間の短縮を図るため、ICTを活用した手法の導入を模索しています。今回は初めて既存の端末等を利用し、Web会議にて発注者・施工者・CM業務受託者の3者会議を実施しました。

6.29

二級河川高城川水系高城川 松島町高城地内河川改修事業の完了

高城川護岸改修工事L=32mが完成しました。

この工事の完成により平成28年度から進めてきたL=1,140mの高城川河川改修事業が完了しました。

8.20~

gacco研修「防災学」を受講

東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な防災学の礎を築くため、東北大学災害科学国際研究所が制作したウェブサービス型の講座を計4回にわたり受講し、防災の視点や伝承の取り組みについて学びました。

10.3

(一)高城停車場線 松島町高城地内松島橋(災害復旧事業)の開通式を開催

二級河川高城川に架かる松島橋は、平成24年から災害復旧工事を進めてきました。高城川左右岸が結ばれることで、松島町の復興はもとより、観光振興など地域の発展期寄与することが期待されます。

11.5

ICT施工現場の見学会を開催(主)相馬亘理線 復興交付金事業

古川工業高等学校の生徒約40名へ、ICT施工における従来工法との違いやメリットについて、建設機械へ搭乗しながら機器類等の説明を行いました。

11.9~

災害査定を受検(第2次査定)

10月5日からの第1次査定に続き、「9月10日から14日にかけての豪雨」による被災箇所の第2次査定を受検しました。仙台土木事務所では、二級河川坂元川水系坂元川の1件を受検しました。

12.10

「橋梁補強・補修に関する研修会」を開催

宮城県コンクリート診断士の協力により「橋梁補強・補修に関する研修会」を開催しました。

今回は対面による研修のほか、管内市町が参加したオンライン研修を併せて行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りました。



12.25

(一)大衡仙台線 大和町宮床地内宮床工区(社会資本整備総合交付金事業)の開通式を開催

大和町の宮床工区約2.3km区間については、平成24年度から事業を進めてきました。開通により、県北圏域と仙台市を結ぶ南北軸が強化され、地域間の交流促進、経済活動の活性化が期待されます。

R3.3.17

二級河川七北田川水系七北田川河川災害復旧事業の完了 仙台市宮城野区蒲生地内

七北田川河川災害復旧工事L=379mが完成しました。この工事の完成により平成23年度から進めてきたL=4,901mの七北田川河川災害復旧事業が完了しました。



3.20

北貞山運河・南貞山運河への桜の植樹仙台市若林区荒浜地内

災害復旧事業が完了した北貞山運河、及び南貞山運河沿いに桜を植樹しました。桜を植樹することで運河に新たな景観を創出し、東日本大震災からの復興の象徴となるとともに、津波意識の醸成や津波体験の伝承を目的としています。

3.23

一級河川名取川水系南貞山運河災害復旧事業の完了 名取市下増田地内

南貞山運河河川災害復旧工事L=154mが完成しました。この工事の完成により、平成25年度から進

めてきたL=4,895mの南貞山運河河川災害復旧事業が完了しました。

3.25

浦戸地区海岸朴島地先海岸(東側)災害復旧事業の完了 塩竈市浦戸野々島字朴島地先

朴島東海岸で行われてきた傾斜式堤防L=187.4mと樋管N=1基の工事が完成しました。この工事の完成により朴島地先海岸(東側)災害復旧事業が完了し、津波に対する島内の安全が図られます。



3.26

(主)相馬亘理線 山元町山寺地内外坂元・山寺工区(復興交付金事業)の供用開始

福島県新地町から山元町を経由し亘理町までの11.2kmにおよぶ嵩上げ道路が令和3年3月26日に開通しました。開通により多重防御施設としての津波被害への減災機能に加え、地域間交流の促進や、観光振興などに寄与することが期待されます。

3.30

(一)利府中インター線 塩竈市庚塚地内庚塚工区(I期)(社会資本整備総合交付金(復興枠)事業)の完了

塩竈市の庚塚工区約460m区間については、平成21年度から事業を進めてきました。今回の開通により、塩釜圏域の活性化や、水産物の物流機能の強化、地域の観光振興に寄与し、高速交通体系と直結する重要な路線として期待されます。

北部土木事務所の記録

平成24年度の記録

4.27

(主)鹿島台高清水線平渡1工区 用地説明会 開催

事業用地として御協力いただく地権者に対して、取得面積、地目別の取得単価を提示するとともに、課税の特例等について説明しました。

5.4

4月30日から5月5日にかけての豪雨により出来川が出水、名 緒越流堤が破堤

平成24年5月4日9時頃、越流を開始してまもなく越流堤約20mが決壊し、もともとの名緒沼の範囲を超える約200haの農地の浸水及び床下浸水3戸の被害が生じました。



▲被災状況

5.14

(主)仙台三本木線混内山道路改 良事業の収用裁決に係る第一回 審理

収用委員会へ事業計画概要、裁決申請及び明渡裁決の申立に関し、裁決申請に至った経緯、損失補償額の算定根拠等について、起業者説明を行いました。



▲仙台三本木線混内山道路

5.16

名緒越流堤決壊箇所の応急工事 完了



▲応急復旧後

5.22

(主)石巻鹿島台大衡線二郷外道 路災害復旧工事 完成

復旧延長 L=1,399.7m



▲石巻鹿島台大衡線二郷外道路

5.23

(主)古川佐沼線江合道路災害復 旧工事 完成

復旧延長 L=367m

6.12

総合防災訓練土木部防災訓練 実施

北部土木事務所と管理委託業者及び建設コンサルタンツ協会が参加し、被災情報伝達訓練を実施。土木事務所職員18名が参加し、現地確認や県民土砂災害相互連絡システムを使用した訓練を実施しました。



▲訓練の様子

6.13

遊水地越流堤の維持管理のあり 方に関する検討会 出席

5月4日の出来川名緒越流堤での破堤を受け、県内8遊水地について越流堤の被災を未然に防ぐため、通常時や異常天然現象発生後における点検方法や維持管理の方法等を検討し、今後の効率的な維持管理のあり方についてとりまとめる検討会が開催されました。

7.4

国道347号整備に係る加美町区 長会研修会 出席

小野田文化会館小ホール(加美町)において、国道347号県境部11.3kmの通年通行化に向けた取組状況を説明しました。

7.27

(一)小野田三本木線向町地区道 路改良事業の計画説明会 開催

一般県道小野田三本木線色麻町内の未改良区間、約200mの道路改良計画を地元で説明しました。

7.30

国道108号花淵山バイパス4号 トンネル貫通式 出席

8.7

国道108号花淵山バイパス3号 トンネル工事安全祈願祭 出席



▲安全祈願祭

8.20→31

夏期研修生3名の受け入れ 実施



▲インターンシップの様子

8.22

職場内研修(第1回)実施

事務所職員の技術向上を図るため国道108号花洲山バイパスのトンネル及び橋梁の工事現場の見学と鬼首地熱発電所の視察を実施しました。



▲職場内研修の様子

8.24

平成24年度「道路クリーンキャンペーン」実施

8.28

職場内研修(第2回)実施

事務所職員の技術向上を図るため港湾施設の災害復旧工事現場及び震災廃棄物処理施設の視察を実施しました。



▲職場内研修の様子

8.29

名鱒越流堤災害復旧工事の綱矢板仮締切完了



▲名鱒越流堤災害復旧工事完了

9.4

建設工事現場の緊急安全パトロール実施

夏場に入り多発する建設現場の事故や古川労働基準監督署からの緊急要請を踏まえ、北部土木事務所が発注し、施工中の主

な工事現場約20箇所に対し、緊急安全パトロールを実施しました。



▲パトロールの様子

9.6

涌谷町洞ヶ崎一急傾斜地崩壊対策事業説明会開催

9.10

平成23年東北地方太平洋沖地震の復旧工事全て執行完了

当事務所管内の被災箇所166箇所が最後となる品井沼遊水地周囲堤の復旧工事を執行しました。

9.27

加美町議会国道347号現地説明会開催

9.28

国道347号 宇津野(2)-1工区事業説明会開催

11.8

国道108号花洲山バイパス3号トンネル貫通式出席



▲貫通式の様子

鍋越峠付近の気象観測開始

国道347号の通年通行化に向け、積雪状況等の気象状況を把握するため、これまで観測されたことのない鍋越峠付近の気象状況を無人観測装置を設置し、観測を開始しました。

12.18

(主)仙台三本木線混内山道路整備事業で行政代執行実施



▲仙台側から(引渡後)

12.19

涌谷町川畑沢砂防えん堤事業説明会開催

12.28

「桜の目橋」の災害復旧工事完成

東日本大震災により被災した、江合川に架かる「桜の目橋」の橋梁災害復旧工事が完成しました。



▲支承交換

H25.1.17

出来川応急河川災害復旧工事完成



1.29

国道347号 宇津野(2)道路改良工事の栈道工工事契約締結

3.20

国道108号東バイパス開通式出席

3.23

国道346号鹿島台バイパス(二線堤)開通式出席

(主)石巻鹿島台大衡線交差点から現道接続区間まで約4.1kmの供用しました。

3.28

管内の311地震災害復旧工事が完了
鶴田川(品井沼周囲堤)河川災害復旧工事を除き管内全ての311地震災害復旧工事が完了しました。

5.8→9

建設企業委員会県内調査

管内の主要事業である国道347号外2箇所の工事現場を10名の建設企業委員会委員の皆様が現地調査を行いました。



5.20

R347号山形県議会現地調査

通年通行化を目指し整備を進めている国道347号の工事現場を山形県議会建設常任委員会の皆様が視察されました。

5.29～

重要水防箇所合同巡視

国が管理する河川の重要水防箇所について国土交通省、水防団、関係市町及び県が合同で出水期前の点検を行いました。

6.8

第28回仙山カレッジー国道347号通年通行へー

「鍋越峠が変わるー国道347号通年通行へー」をテーマに宮城、山形の県境を越えた連携、交流について意見を交わしました。



6.12

総合防災訓練

みやぎ県民防災の日に職員24名と管理委託業者及び測量設計業協会が参加し、情報伝達訓練を実施しました。



7.5

仙台三本木線混内山工区 供用開始

県道仙台三本木線の終点部で国道4号と接続する部分となる「混内山工区」が暫定供用を開始しました。



7.16

深川樋門操作合同研修会

鳴瀬川水系深川に設置されている深川樋門の操作研修会を実施し、豪雨災害に対する危機管理体制の強化を図りました。

7.31

木間塚コラボ事業検討会開催

県道鳴瀬南郷線の木間塚地区において通学路の安全な歩行空間を確保するため地域住民の皆様と検討を行いました。



8.31

花淵山BP2号トンネル工事安全祈願祭

国道108号における花淵山2号トンネル工事開始に伴い、安全祈願祭が行われました。2号トンネルは全長1,194mで4号トンネルに次いで2番目の長さとなっています。



9.6

仙台三本木線混内山工区全面供用

7月に暫定供用開始された県道仙台三本木線の国道4号との交差点部分が完了し、全面供用されました。これにより大崎圏域と仙台圏域を結ぶ重要な路線がより安全に通行できるようになりました。



11.28

スマイルロード・サポーターへ認定証交付

県が管理する道路の清掃・緑化及び除草等の活動にご協力いただく2団体に対し、「スマイルサポーターの認定証」が所長より交付されました。



H26.2.25

出来川(名緒越流堤)災害関連工事完了

平成24年5月の大雨で破堤した出来川名緒越流堤は、平成24年度に復旧工事に着手し、平成26年3月に復旧工事が完了しました。



北部土木事務所

平成26年度の記録

6.30

国道347号「絆」交流促進協議会設立

国道347号の通年通行を契機に、隣接市町の交流拡大と地域活性化を目的とした協議会が設立されました。



7.26

森と湖に親しむ旬間「あつまれ! 鳴子ダム2014」を開催

大崎市鳴子温泉鬼首の鳴子ダム荒雄湖畔公園において、水源地域の森林と水環境を学ぶ親子体験型イベントを国、大崎市とともに開催しました。

8.6

花洲山バイパス2号トンネル貫通式

国道108号花洲山バイパス工事に於いて最後のトンネルとなった2号トンネルの貫通に伴い、貫通式が行われました。



9.9

管内市町土砂災害対策担当者会議を開催

管内市町土砂災害対策担当者を対象に、平成26年8月の豪雨による広島県の土砂災害を踏まえた土砂災害防止法の概要説明と意見交換を行いました。



9.9

環境学習等支援(出前講座)を開催

加美町立賀美石小学校において「総合的な学習の時間～見つめよう 田川の水～」として環境学習支援の出前講座を行いました。



10.21

環境学習等支援(出前講座)を開催

大崎市立川渡小学校において「流れる水にはたらきについて」として環境学習支援の出前講座を行いました。



12.8

木間塚コラボ事業 完了

県道鳴瀬南郷線の木間塚地区において通学路の安全な歩行空間を確保するため地域住民の皆様と検討を行ってきたコラボ事業が完了しました。



H27.3.3

スマイルサポーター意見交換会の開催

今後の活動の参考と活動支援を目的に、スマイルサポーター意見交換会を開催しました。



3.27

土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」の指定

土砂災害基礎調査の結果について、関係する地域住民への説明を進め、161箇所において「土砂災害警戒区域」を指定しました。

5.19

田尻川、鶴田川改修促進期成同盟会 解散総会

河川の改修を促進するため、田尻川では昭和24年に前身の江合川左岸排水路改修期成同盟会が組織され昭和29年に改称し田尻川総合改修期成同盟会として、鶴田川では昭和33年に鶴田川改修促進期成同盟会としてそれぞれ要望活動をしてきました。このたび、上流から下流まで全流域を対象として要望活動が行えるよう、発展的な解散をすることとなりました。

5.27

江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会 設立総会

江合川、鳴瀬川、吉田川の全流域の改修促進要望活動が行えるよう、「江合・鳴瀬・吉田川直轄改修促進期成同盟会」は、「田尻川総合改修促進期成同盟会」、「吉田川改修期成同盟会」、「鶴田川改修期成同盟会」を統合し「江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会」として名称変更をしました。

5.29

(都) 並柳福浦線用地説明会を実施

大崎市古川三日町地区において、並柳福浦線都市計画街路事業の用地説明会を開催しました。

6.1→8

土砂災害防止月間 危険箇所パトロール

土砂災害防止月間に合わせて市町の職員や砂防ボランティアの方々と管内一市三町の土砂災害危険箇所25箇所のパトロールを実施しました。

6.25

小島交通安全施設設置事業の用地説明会を実施

(主)石巻鹿島台大衡線大崎市鹿島台小島地区において、歩道設置のための用地説明会を開催しました。

8.26

道路ふれあい月間クリーンキャンペーン

道路ふれあい月間において、(主)仙台三本木線や(主)石巻鹿島台大衡線においてごみ拾い等を行いました。また、ふれあい月間に賛同する宮城県建設業協会大崎支部32社が清掃等の活動を実施しました。

9.10→11

H27年関東・東北豪雨により堤防決壊等による被害が発生

9月8日昼から9月11日昼にかけて雨が降り続き、線状降水帯が形成され大雨となりました。9月11日3時20分には宮城県に東北初の大雨特別警報が発令され、古川気象観測所では24時間雨量197mmが記録された。この豪雨により渋井川、渋川、名蓋川等河川堤防の決壊などで多くの浸水被害が発生し、市民生活に甚大な影響を及ぼしました。



9.15

(主)古川登米線大貫用地説明会を実施

大崎市田尻大貫地区においては昨年事業説明会を実施し、賛意を得ていました。今回は用地立会に先立ち、用地説明会を開催しました。

10.6

百々川排水機場(電気設備外工事)安全祈願祭

大崎市田尻百々地区において、安全祈願祭が開催され工事の安全と早期完成を願いました。

10.21

花淵山バイパス 開通記念プレイベントの開催

鳴子小学校と鬼首小学校の全児童103名による現場見学会、手形残し、タイムカプセル埋設会を開催しました。

11.15

国道108号花淵山バイパス開通式

昭和63年度に事業着手した花淵山バイパスは、平成20年度から直轄代行業として国土交通省により事業が進められてきました。開通により、災害に強く、安全安心で快適な交通が確保され、宮城・秋田両県の連携強化と交流促進により地域の産業経済の活性化や観光振興が期待されます。

11.16→12.18

災害査定(第2次から第6次)

平成27年関東・東北豪雨により被災した公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われました。この災害査定により166件約51億円が復旧経費として認められました。

12月

国道347号 通年通行化工事が進む

国道347号の通年通行化の進捗状況は、12月までに延長11kmのうち道路改良区間延長5.0km、斜面对策区間延長3.2km計8.2kmが完了しました。

H28.3.1

スマイルサポーター意見交換会

管内ではスマイルロードサポーター27団体、スマイルリバーサポーター7団体が活動を行っています。意見交換会では14団体が参加し、日ごろの活動状況や活動内容について、活発な情報交換が行われました。

3.12

(主)古川松山線志田橋開通式

県道4路線が集中する交通結末点の主要地方道古川松山線志田橋は、老朽化が著しく、線形改良、歩行者の安全確保等を図るため事業を進めておりましたが橋梁の建設工事を終え、このたび開通しました。



北部土木事務所

平成28年度の記録

6.8

第3回鍋越峠道路管理検討会議

一般国道347号の通常通行を開始するにあたって、道路管理・除雪体制を検討するため、山形県、学識者、交通管理者、道路利用者等で構成される管理検討会議を開催しました。

6.26

加美郡2町花川流域水防訓練

加美町・色麻町の2町が合同で水防訓練を実施しました。平成2年豪雨災害では、加美町、色麻町内において、堤防決壊などが発生しましたが、日頃の訓練がいざというとき重要であるとの認識で訓練が行われました。



7.5

鳴瀬川等大規模氾濫時の減災対策協議会

今後起こり得る大規模地震・津波等に対する防災体制の確立と防災意識の高揚を図るため、宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせ総合防災訓練を実施しました。

7.12

古南1号線工事説明会

大江川捷水路に並行する市道古南1号線は、県が大崎市から道路改良工事を受託しています。工事に先立ち地元住民に対して説明会を開催しました。

7.13

鳴瀬小学校出前講座

児童の皆さんと水生生物の採取や観察を行い、鳴瀬川に生息する生物の特徴について調査しました。また、水難事故から身を守るため、川で遊ぶときの注意事項について説明しました。

8.4→6

「昭和61年8月5日洪水」から30年 水害の記憶を未来へ

「昭和61年8月5日洪水」から30年を迎える本年、水害の記憶を風化させることな

く、後世に語り継ぎ、地域住民のみならずの防災意識を高めるとともに、治水事業の理解を深めていただくことを目的として、講演、パネル展、親子お天気教室などを実施しました。

8.9, 9.11

緊急堤防点検結果の報告会

平成27年豪雨災害を受けて作成したアクションプランに基づき実施した緊急堤防点検の実施結果を地元関係者に対して説明しました。

9.5

大江川改修に係る事業説明会

平成28年から5ヶ年で実施する床上浸水対策特別緊急事業として実施する大江川捷水路の事業説明会を実施しました。

第1回 平成28年9月5日

第2回 平成29年1月16日

9.8

第4回鍋越峠道路管理検討会議

一般国道347号の通常通行を開始するにあたって、道路管理・除雪体制を検討するため、管理検討会議を開催し、道路管理について決定されました。

11.19

一般国道347号通常通行記念式典

一般国道347号は、東日本大震災直後、緊急輸送路に利用できなかったことを契機に、本路線の重要性が再認識され冬期間でも災害時・緊急時に利用可能な輸送路として平成24年度から事業を進め、12月から通常通行を開始することとなりました。



▲式典に出席したゆるキャラ達

12.5→7

土砂災害警戒区域の指定に向けた基礎調査説明会

土砂災害の警戒避難体制を整備するため管内に於いて基礎調査の結果について説明会を開催しました。

◎ 12月5日大崎市

◎ 12月6日加美町

◎ 12月7日色麻町



H29.2.7

一般国道108号花淵山BP環境検討会

花淵山BP事業に伴う自然環境への影響について、平成27年11月15日のBP供用後の周辺環境の状況等を有識者へ報告し、今後の管理方法について検討いただきました。

3.13

渋井川災害復旧工事 完成

平成27年9月の豪雨で堤防決壊した渋井川の災害復旧工事及び災害関連工事は、一部の工事用道路等を除いて完成しました。



3.27

出来川災害復旧工事(名鱈越流堤)完成

平成27年9月の豪雨で被災した出来川の名鱈越流堤は、平成28年3月から災害復旧工事を実施していましたが、このたび完成しました。



5.31

渋井川災害関連事業が完了

関東・東北豪雨災害により甚大な被害を受けた、渋井川で事業を実施していた災害関連事業が完了し、出水期に備えることができました。



6月

橋梁点検を実施

劣化の進行が早く、損傷状況の把握が遅れ、事後対応となるケースが生じていることから、職員による緊急点検を行いました。



6.1

百々川排水機場の供用開始

一級河川田尻川と百々川合流点に整備していた、百々川排水機場が完成し、供用開始しました。
洪水被害の低減が図られました。



6.13

出前講座を開催

大崎市松山老人福祉センターにおいて松山地区にお住まいの方を対象に、「河川を学ぼう」と題して、みやぎ出前講座を実施しました。
講義では、宮城県内の河川の現況や河川法における河川の位置付け、水害を防ぐ取組について説明しました。

8.23

道路クリーンキャンペーン実施

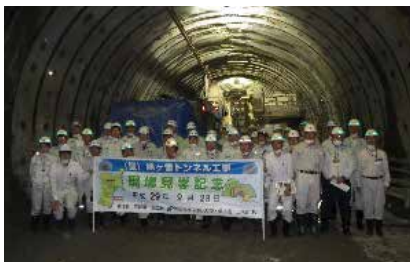
宮城県建設業協会大崎支部と協働で『道路クリーンキャンペーン』を実施しました。一部の区間では、スマイルサポーターの皆さんと協働で作業を行いました。総勢100名の皆さんが参加されました。



9.28

管内市町合同現場研修会を実施

管内市町の職員と合同で現地研修会を実施し、職員のスキルアップを図りました。
(主)岩沼蔵王線大師・姥ヶ懐工区のトンネル工事と、山元町における東日本大震災の復旧状況を見学しました。



12月～2月

土砂災害警戒区域の指定にかかる住民説明会を開催

土砂災害警戒区域等指定の手続きに先立ち、基礎調査が終了した地域において、説明会を開催しました。

- 12月26日 色麻町
- 1月25日 大崎市三本木
- 2月15日 大崎市松山
- 2月23日 大崎市鹿島台

12.18→22

災害査定

平成29年10月22日～10月23日にかけての台風21号の影響により、管内では12箇所(河川11, 道路1)で被災がありました。また、12月18日～22日にかけて災害査定を受検しました。



H30.2月

地域住民と連携した生活密着型の社会資本整備検討会を実施

(主)河南築館線 大崎市田尻大貫地区で地域の課題解決に向けて、地域住民が発案し、住民と連携した事業として「地域住民と連携した生活密着型の社会資本整備」をはじめました。



2.16

国道347号鍋越峠で防災訓練を実施

国道347号鍋越峠は、冬期の気象条件が厳しく、また、一部区間においては、携帯電話が使用できないことから、万一の災害や事故発生時に備えて防災訓練を実施しました。

2月

国道347号鍋越峠で職員による斜面点検を実施

国道347号鍋越峠においては、昨年度の1.7倍を超える積雪となったため、直営パトロール等による斜面点検を実施し、なだれの発生状況を監視しながら、道路開放を行っていました。



3.6

スマイルサポーターとの意見交換会を開催

スマイルサポーターとの意見交換会を実施。今後の活動の参考となるよう活発な意見交換が行われました。



北部土木事務所

平成30年度の記録

5月～6月

土砂災害危険箇所パトロール

土砂災害防止月間に合わせて、管内の土砂災害危険箇所に指定されている箇所を、県や市町の担当者と砂防ボランティア協会の協力によりパトロールを実施しました。



6.12

土木部防災訓練

土木部BCPに基づき、宮城県沖地震(連動型)が発生した場合の初動対応を確認するとともに、今後の危機管理体制の参考となりました。



8.1

夏休み親子現場見学会

小学生とその保護者を対象に、建設業に関心を持っていただくとともに、「ものづくり」の大切さを実感いただき、夏休みの楽しい思い出になるよう、「大江川河川改修事業」の工事現場を会場に現場見学会を開催しました。参加者からは、「楽しかった」「また参加したい」との感想が寄せられました。



8.23

道路クリーンキャンペーン実施

宮城県建設業協会大崎支部と協働で『道路クリーンキャンペーン』を実施しました。一部の区間では、スマイルサポーターの皆さんと協働で作業を行いました。総勢100名の皆さんが参加されました。



9.14

国道347号鍋越峠道路管理検討会議を実施

国道347号の通年通行化における安全性を確保するために、学識経験者や道路管理者等関係機関で構成する「鍋越峠道路管理検討会」を設置し、昨年度の降雪状況等を踏まえた道路管理について、意見交換を行いました。



9.27→28

災害査定

平成30年8月14日から18日にかけての豪雨により、管内では1箇所(道路1)で被災があり、9月27日から28日にかけて災害査定がありました。



10.16

管内市町合同現場研修会を実施

管内の県関係機関と市町職員と合同で、福島県内で行われている、東京電力福島第一原子力発電所の事故による除染土壌や廃棄物を最終処分するまでの間、安全に集中的に貯蔵する「中間貯蔵施設」の整備や「特定廃棄物埋立処分施設(管理型処分場)」, 除去土壌の「再生利用実証事業」等の進捗状況を見学し、東日本大震災の復旧・復興に関するスキルアップを図りました。



9月,1月～2月

土砂災害警戒区域の指定にかかわる住民説明会を開催

土砂災害警戒区域等指定の手続きに先立ち、基礎調査が終了した地域において、説明会を開催しました。

- 9月19日 大崎市鳴子温泉
- 1月22日 加美町
- 1月29日 大崎市岩出山
- 2月 1日 大崎市鹿島台

8月～2月

通学路に係るブロック塀点検を実施

平成28年熊本地震や平成30年大阪府北部地震等、近年の地震災害を踏まえ、通学中の児童等の人身事故を防ぐために、管内の通学路におけるブロック塀の点検を行いました。



R1.2.14

スマイルサポーターとの意見交換会を開催

スマイルサポーターとの意見交換会を実施。今後の活動の参考となるよう活発な意見交換が行われました。



4.26→5.10

県道における冬期通行規制の解除

冬期通行規制区間について、(一)岩入一迫線と(一)沼倉鳴子線は4月26日に、(主)最上鬼首線は5月10日に規制を解除しました。栗駒国立公園を中心とした行楽地や温泉地等への往来が可能となり、観光振興や交流拡大等の効果が期待されます。

6.11→19

土砂災害防止月間におけるパトロールの実施

毎年6月の「土砂災害防止月間」には、崖地等のパトロールを実施しています。今年度は管内21箇所の崖地等について、市町や砂防ボランティア等とパトロールを実施し、周辺住民等へ斜面の現況等を説明するとともに、緊急時の早期避難を呼びかけるなど危機意識の醸成を図りました。



6.30

(一)涌谷三本木線 三本木橋の橋梁耐震化・橋梁補修の完了

大規模災害発生時等の救援・支援路の確保に向け、緊急輸送路における橋梁の耐震化や補修を実施し、機能強化を図っております。鳴瀬川に架かる(一)涌谷三本木線の三本木橋では、6月末に工事が完了しました。

7.8

「国道347号鍋越峠道路管理検討会議」の開催

国道347号の通年通行に伴う安全確保等に向け、有識者や道路利用者等の意見を踏まえ、道路管理計画等に反映していくことを目的に、平成27年より開催しています。今年度は、気象及び通行状況等の報告とともに、夜間通行止時間帯の短縮化に向け、今後検討していくこと等について意見交換を行いました。

8.1

「2019夏休み!親子現場見学会」の開催

未来の建設業を担う人材確保・育成に加え、地域の安全・安心を担うダム、連携・交流のほか災害時に救援・支援路の役割を果たす道路について学んでもらおうと、漆沢ダムと冬期の通行確保に重要な国道347号沿いの門沢除雪基地を会場に開催しました。

ダムではスケールの大きさを実感し、除雪基地では除雪機械に搭乗する等、楽しい時間を過ごしました。



8.27

道路クリーンキャンペーンの実施

当事務所と宮城県建設業協会大崎支部では、毎年8月の「道路愛護月間」に道路クリーンキャンペーンを実施しております。

33回目の今年度は、県管理国県道18路線、134kmにおいて清掃活動を実施しました。

8.31

大江川床上浸水対策特別緊急事業 (JR陸羽東線交差部の函渠工本体完了)

市街地を流れる大江川では、浸水被害の軽減に向け、床上浸水対策特別緊急事業を実施しています。JR陸羽東線交差部では、JR東日本に施工を委託し、綿密な施工計画や安全対策のもと施工を進め、8月に函渠本体が完了しました。

9.30

佐賀川水門の本体整備が完了

田尻川との合流部付近で整備を進めてきた佐賀川水門の本体整備が完了しました。引き続き、築堤や護岸等の整備を図り、沿川地域における浸水被害の軽減を図ります。



10.12→13

台風19号に伴う管内における被害発生

台風19号により、道路や河川など約200箇所の施設が被災しました。渋井川や名蓋川では堤防が決壊し、広範囲に浸水が発生しました。

10.29,11.7

(都)稲葉小泉線用地説明会の開催

(都)稲葉小泉線は、国道4号を補完する機能のほか、大崎市民病院や古川IC等へのアクセス及び渋滞緩和等の役割を担っています。今年度は用地測量の結果を踏まえ、10月から11月にかけて用地説明会を開催し、住民等の理解と協力が得られたことから、用地取得を鋭意進めております。

11月～1月

土砂災害警戒区域等指定に向けた説明会開催

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査が完了した124箇所について、大崎市や涌谷町等において住民説明会を開催しました。今回の基礎調査完了で、管内706箇所全ての調査が完了しました。



11.30

国道347号外川地区の防雪柵等追加整備

国道347号における通年通行の安全確保に向け、調査等により防雪柵等の追加箇所について、今年度より整備に着手し、11月に一部が完成しました。引き続き、次年度も整備を実施します。

R2.1.9

大江川床上浸水対策特別緊急事業 (国道347号橋上部工完了)

大江川の床上浸水対策特別緊急事業に伴う国道347号の橋梁架換については、昨年度より工事を進めてきましたが、1月に上部工が完了しました。今後仮設道路の撤去等を行い、早期の通行開始を目指します。

北部土木事務所

令和2年度の記録

4.17→5.8

県道における冬期通行規制の解除

冬期通行規制区間について、(一)岩入一迫線と(一)沼倉鳴子線は4月17日、(主)最上鬼首線は、5月8日に規制を解除しました。栗駒国定公園を中心とした行楽地や温泉地への往来が可能となり、観光振興や交流拡大等の効果が期待されます。

4.23→24

災害復旧にかかる地元説明会の開催

令和元年10月の東日本台風により破堤被害を受けた渋井川、名蓋川周辺の住民の方々に対し災害復旧にかかる事業説明会を開催し、工事への理解と協力を求めました。併せて、その後実施する河川堤防点検についても説明を行いました。



5月～7月

河川堤防の緊急点検の実施

令和元年10月に発生した台風19号の被災を受け、緊急堤防点検を実施し、発見した異常箇所について、順次対策を実施しました。

6.9→12

土砂災害防止月間におけるパトロールの実施

毎年6月の「土砂災害防止月間」には、崖地等のパトロールを実施しています。今年には管内5市町の崖地等について、市町や砂防ボランティア等とパトロールを実施し、周辺住民等へ斜面の現況等を説明するとともに、緊急時の早期避難を呼びかけるなど危機意識の醸成を図りました。

6.17

街路整備にかかる説明会の開催

(都)鹿島台駅前線の街路整備に際し、地元の方々へ計画説明を行いました。当日、計画の概要や測量の立ち入り等について説明を行い皆様の理解を求めました。

7.16

河道掘削工事の完成 (田川)

土砂の堆積が著しかった田川と鳴瀬川合流部において河道掘削を行い、治水安全度の向上を図りました。



8.26

道路クリーンキャンペーンの実施

当事務所と宮城県建設業協会大崎支部では、毎年8月の「道路愛護月間」に道路クリーンキャンペーンを実施しております。33回目の今年は、県管理国道18路線、134kmにおいて清掃活動を実施しました。

10月～3月

通学路に係るブロック塀点検を実施

平成28年熊本地震や平成30年大阪北部地震等、近年の地震災害を踏まえ、通学路中の学童の安全確保を図るためスクールゾーン内にある危険なブロック塀の点検を行いました。

その後、2月13日の福島県沖の震度5強の地震を受け緊急点検も行いました。



10.21

管内職員研修の開催

宮城県建設センターの協力で管内の市町職員を交えた職員研修を行いました。工事請負契約や施工上の留意点についての講義は大変為になるものでした。今後も同様の研修を通じ、技術力の向上に努めます。



10.22

スマイルサポーター・河川愛護団体を表彰

日頃からの河川の美化清掃、景観の向上・維持等の活動の功績をたたえ、スマイルリバーサポーター2団体及び河川愛護団体6団体に、宮城県知事からの感謝状が伝達されました。

12.7

大江川床上浸水対策特別緊急事業 (竹ノ内2号橋・護岸工の完成)

市街地を流れる大江川では、浸水被害の軽減に向け、床上浸水対策特別緊急事業を実施しています。昨年施工した函渠工に続き接続する矢板護岸が完成し、当該区間について通水することができました。また、捷水路に併せて整備を行ってきた市道竹ノ内中線での橋梁は、12月に架設が完了しました。



R3.2月～3月

河川災害復旧工事の完成

令和元年10月の東日本台風により被災した箇所について鋭意復旧工事を進めているところです。地元の皆さんの協力のおかげで渋井川、名蓋川、田尻川などでは復旧工事が完了しております。その他の箇所についても順次完了向け、工事を進めています。



北部土木栗原地域事務所の記録

平成24年度の記録

4.13

小山田川河川災害復旧工事完了

小山田川(高清水鶴巻)の本復旧が完了しました。



▲小山田川河川災害復旧後

5.5

国道398号冬期閉鎖解除

国道398号の花山字本沢温湯～秋田県境(14.4km)区間は、例年5月連休前を目標に冬期閉鎖を解除しましたが、この冬は例年になく大雪と低温状態が続き、除雪完了後も切土法面や沢筋に大量の雪が残り、雪崩や落雪の発生が危惧されました。このため専門家の現地調査を受け、斜面状況の監視と雪庇除去、待ち受けポケット確保等の対策を進めてきましたが、5月2～4日の大雨で急激に雪解けが進み危険性が大幅に低下したことから、監視及び交通規制などの安全対策を講じた上で5月5日に供用を開始しました。



▲土木研究所の専門家による現地調査



▲切土法面とその上部の残雪状況

5.22

藤沢瀬嶺道路災害復旧工事完了

6.17

災害復旧・復興状況をパネルで紹介

栗原市一迫中央公園で開催された「栗原市総合防災訓練」において、岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災により被災した公共土木施設の復旧・復興状況について、パネルを使って栗原市民や訓練参加者にお知らせしました。



▲災害復旧・復興状況をパネル展示

7.9

河川被害箇所の災害復旧を申請(災害査定)

4月30日～5月5日の豪雨により管内の河川で被害が発生したことから災害復旧申請を行い、第1次・第2次査定において9河川12箇所の採択を受けました。

7.18

凍上被害箇所の災害復旧を申請(災害査定)

平成23年度冬期の極端な低温状況により、県内の道路で舗装面にひび割れ、不陸などの凍上被害(凍上災)が発生したため、平成18年以来6年ぶりに凍上災箇所の災害復旧申請を行うこととなり、当管内では第2次～第5次査定において12路線24箇所の採択を受けました。



▲凍上災害査定の状況

8.7

大震災で被災した川南高架橋上部工を原位置に復旧

川南高架橋(栗原市若柳)は東北地方太平洋沖地震により橋軸直角方向に繰り返し大きな水平力が作用し、橋脚の柱基部損傷や上部工(3径間連続中空床版)の回転・横移動に伴う支承・移動制限装置等の損傷など甚大な被害が発生。これらの被災のうち移動した上部工について、8月7日深夜、3径間全体をジャッキアップし原位置に復旧する作業を実施、約5時間で無事完了しました。



▲3径間に移動用支保工・ベントを設置



▲7日深夜、桁移動作業を開始

8.3→9

「水害から命を守る治水対策」パネル展を開催

本県の水害と治水対策の歴史や現在の取組、ハザードマップをはじめとしたソフト施策を紹介し、県民の水害への防災意識を高め、ひいては自助・共助意識の醸成を図るために、河川課と連携し栗原市役所庁舎ホールにてパネル展を開催しました。(迫川改修80周年記念事業のプレイベント)



▲栗原市役所でのパネル展の様子

8.31

浦ノ沢道路災害復旧工事完了

(一)大鳥沢辺線(栗駒栗原浦ノ沢)外3工区の本復旧完了しました。

9.18

耕英東1号砂防えん堤の完成

平成20年6月の岩手・宮城内陸地震では多数の斜面崩壊や土石流災害が発生したため「災害関連緊急砂防事業」「砂防激甚災害対策特別緊急事業」の採択を受け、砂防えん堤や流路工等の施設整備を進めており、このうち栗駒沼倉の耕英東1号砂防えん堤工事が完了しました。



▲県耕英東1号砂防えん堤の完成

9.21

他県応援職員が岩手・宮城内陸地震被災箇所の復旧状況を視察

東部土木事務所の他県応援職員を中心に、登米地域事務所職員を合わせた23名が平成20年6月の岩手・宮城内陸地震で大きな被害が発生した荒砥沢ダム上流地すべり崩壊地や、耕英東(裏沢)砂防激甚事業箇所、県道築館栗駒公園線の大規模法面崩壊箇所を視察、宮城北部森林管理署及び当事務所で復旧・復興状況を説明しました。



▲県道築館栗駒公園線の大規模法面崩壊箇所

10.25

宮野道路情報表示板災害復旧工事完了

(主)築館栗駒公園線(築館下宮野)の本復旧工事が完了しました。

11.13

川南高架橋橋梁災害復旧工事完了

(一)有壁若柳線(川南高架橋)の本復旧工事完了しました。

11.16

“迫川”河川改修80周年記念イベントで河川木利用のパネルを展示

11.20

十二神道路災害復旧工事完了

(主)古川佐沼線(高清水十二神)の本復旧工事完了しました。

H25.1.16

角ヶ崎道路災害復旧工事完了

(一)文字上尾松線(栗駒文字)の凍上災の本復旧工事完了。これ以降3月5日までに7箇所の凍上災発生箇所の復旧を完了しました。



▲着手前



▲有賀道路災害((一)油島栗駒線)復旧後

1月下旬

国道398号の雪崩対策

平成24年度春先から実施中の現地詳細調査の結果、冬期閉鎖区間(14.4km)のうち、7.4km区間における65箇所の法面を雪崩危険箇所と位置付け、特に雪崩発生の可能性が高いと判断される25箇所について優先的に雪崩対策を施すことにより、通行者の安全を確保した上でゴールデンウィーク前の早期供用を目指しました。

2.18

第10回みやぎ県北高速幹線道路環境対策委員会を開催

平成23年11月24日に全線開通した「みやぎ県北高速幹線道路1期区間」は、ラムサール条約湿地の伊豆沼に近接しているため周辺環境に配慮した「エコロード」として進めてきました。平成10年度に「環境対策委員会」を設置し、動植物への影響を工事施工前、施工中、供用開始1年後の現在まで継続的に調査し分析・評価を行ってまいりました。今回、取組みとその結果について委員に報告し、環境対策の効果を確認できたことから17年間にわたり実施してきた「環境対策委員会」を閉会することとしました。



▲第10回環境委員会の様子

3月上旬

迫川(若柳工区)河川改修事業への着手

長沼ダムの平成25年度完成にあわせ、迫川の狭窄部である若柳地区をはじめ、若石大橋～三迫川合流点(7.9km)区間における河道掘削など河川改修を実施。流下能力の向上と洪水被害リスクを軽減させるものです。今年度は若柳地区(若柳大橋上流部)の工事用道路設置及び伐木等を行い、来年度以降の本格的な事業実施に備えました。



▲若柳狭窄部の伐採工(着手前)

4.26

冬期通行止め開通式

国道398号、主要地方道築館栗駒公園線及び一般県道岩入一迫線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では宮城県栗原市と秋田県湯沢市の共催による開通式が開催されました。

5.30→6.7

二迫川改修工事説明会

二迫川の改修工事について工事説明会を実施しました。

6.12

総合防災訓練

みやぎ県民防災の日に合わせ、職員22名によるシナリオブラインド型ロールプレイング方式による総合防災訓練を実施しました。

6.14

岩手・宮城内陸地震発生から5年

平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の発生から5年が経過しました。駒の湯温泉付近の耕英東地区砂防激特事業が実施中でした。

7.26→28

低気圧による豪雨災害(照越川、太田川の決壊等)

寒気を伴った低気圧の影響で栗原市では激しい降雨に見舞われました。特に、築館地区は26日午後1時～5時までの4時間に146mmの降雨を観測しました。

7.30

スノーシェッド(上部工)完成

国道398号花山本沢岳山のスノーシェッド(上部工)をL=10.5m延伸しました。

8.9

道路ふれあい月間クリーンキャンペーン

道路ふれあい月間におけるクリーンキャンペーンを実施しました。管内業者とともに道路の清掃と啓蒙チラシを配付しました。

8.29

透川橋災害復旧工事完了

主要地方道古川佐沼線の透川橋災害復旧工事が完了しました。この工事の完了により東日本大震災に伴う管内全ての復旧事業が完了しました。

9.26

第1回合同安全パトロール

栗原管内における建設工事現場について、発注者等の合同パトロールを実施しました。

9.30→10.4

第1次災害査定

7月26日～28日の低気圧による豪雨被災箇所の第1次災害査定を実施しました。申請件数20件。

10.10

国道398号 交通安全施設整備事業宮前工区完成供用開始

国道398号一迫宮前地区において交通安全施設整備事業として実施していたバイパス工事が完成し開通式が実施され、供用を開始しました。

10.10

土石流災害現場における自然林再生植樹会

岩手・宮城内陸地震の土砂災害により森林が失われた耕英東地区において自然林再生植樹会を実施しました。できるだけ手を掛けない「生態学的混播・混植法」により実施しました。

10.21→25

第2次災害査定

7月26日～28日の低気圧による豪雨被災箇所の第2次災害査定を実施しました。申請件数15件。

10.23

くりこま絆の森植樹プロジェクト植樹会

岩手・宮城内陸地震で被災した駒の湯温泉跡地付近において地元住民等で組織するくりこま絆の森植樹プロジェクトチームによる植樹会を実施しました。

11.8

主要地方道河南築館線 萩沢土橋地区交通安全施設整備事業説明会

主要地方道河南築館線築館萩沢土橋地区の交通安全施設整備事業の用地説明会を実施しました。

11.12

耕英東地区砂防激特事業完成式

耕英東地区で実施していた砂防激特事業

の完成式を行いました。この事業の完了により、岩手・宮城内陸地震に伴う県土木部が実施する全ての復旧事業が完了しました。

11.14

二迫川改修工事用地説明会

11.19

主要地方道中田栗駒線 道路改良事業福岡工区供用区間延長

主要地方道中田栗駒線若柳福岡工区のバイパス工事ではこれまで全長3.2kmのうち1.6kmを供用しておりましたが、さらに供用区間を1km延伸しました。

12.18

主要地方道中田栗駒線 岩ヶ崎地区道路改良事業説明会

主要地方道中田栗駒線栗駒岩ヶ崎地区の道路改良事業の事業説明会を実施しました。

12.19

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間事業説明会

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間の事業説明会を実施しました。

H26.1.24

主要地方道河南築館線 萩沢土橋地区交通安全施設整備事業用地説明会

主要地方道河南築館線築館萩沢土橋地区の交通安全施設整備事業の用地説明会を実施しました。

2.18

第2回合同安全パトロール

3.7

都市計画街路源光町田線 道路改良事業内沢工区供用開始

都市計画街路源光町田線築館内沢工区の道路改良工事(L=610m)が完成しました。

3.28

主要地方道河南築館線 道路改良事業清水沢工区供用開始

主要地方道河南築館線瀬峰清水沢工区の道路改良工事(L=2,000m)が完成しました。

北部土木栗原地域事務所

平成26年度の記録

4.25→5.2

冬期通行止め開通

主要地方道築館栗駒公園線，一般県道岩入一迫線及び国道398号の冬期閉鎖区間をそれぞれ4月25日，4月30日，5月2日に開通しました。

6.4

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期事業説明会

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期区間の整備事業について地元住民を対象とした計画説明会を実施しました。
以後，8月7日，10月14日，11月21日，12月22日，3月の実施により，今年度は計6回の説明会を実施しました。

6.12

総合防災訓練

みやぎ県民防災の日に合わせて，職員24人によるシナリオブラインド型ロールプレイング方式による総合防災訓練を実施しました。

6.27

「全建賞」表彰式

岩手・宮城内陸地震に伴い実施していた，栗原耕英東地区砂防激甚災害対策特別緊急事業が一般社団法人全日本建設技術協会の表彰制度による「全建賞」を授賞しました。



7.10

(一) 若柳築館線道路改良事業説明会

一般県道若柳築館線若柳川南地区における道路改良事業の計画説明会を実施しました。
以後，11月28日にも説明会を実施しました。

7.17

(主) 中田栗駒線道路改良用地説明会

主要地方道中田栗駒線栗駒岩ヶ崎地区における道路改良事業の用地説明会を実施しました。

7.23

(都) 源光町田線道路改築事業説明会

都市計画道路源光町田線築館内沢地区における道路改築事業の計画説明会を実施しました。

8.8

道路ふれあい月間クリーンキャンペーン

道路ふれあい月間におけるクリーンキャンペーンを実施しました。管内業者とともに道路の清掃と啓蒙活動を実施しました。



9.17

第1回栗原地区労働災害防止合同安全点検

栗原管内における建設工事現場について，発注者等の合同パトロールを実施しました。

9.25

道路愛護等に係る大臣表彰伝達式

道路愛護等に携わっている二団体の活動に対して大臣表彰があり，その伝達式を行いました。



10.16

土石流災害現場における自然林再生植樹会

岩手・宮城内陸地震の土砂災害により失われた耕英東地区において，昨年引き続き「生態学的混播・混植法」による自然林再生植樹会を実施しました。

11.4

くりこま絆の森植樹プロジェクト植樹会

岩手・宮城内陸地震で被災した駒の湯温泉付近において地元住民等で組織するくりこま絆の森植樹プロジェクトチームによる植樹会を昨年に引き続き実施しました。



11.13

(主) 中田栗駒線福岡工区開通式

主要地方道中田栗駒線福岡工区のバイパス工事において最後の未供用区間0.5kmが完成し，開通式を実施しました。これにより全長3.2kmが完成しました。



12.15→19

第3次災害査定

10月10日～16日の台風19号による被災箇所の災害査定を実施しました。申請件数10件。

H27.2.5

有賀沢説明会

栗駒有賀沢地区の急傾斜地崩壊対策事業の計画説明会を実施しました。

2.12

第2回栗原地区労働災害防止合同安全点検

栗原管内における建設工事現場について，本年度2回目の発注者等の合同パトロールを実施しました。

3.3

照越川説明会

照越川改修事業の計画説明会を実施しました。

4.26

冬期通行止め開通国道398号開通式

国道398号、主要地方道築館栗駒公園線、一般県道岩入一迫線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では栗原市と秋田建湯沢市の共催により開通式が開催されました。



6.14

栗原市総合防災訓練への参加

「平成20年岩手・宮城内陸地震」の経験と記憶を後世に伝え、また、大規模自然災害の発生に備え、被害の未然防止と軽減を図ることを目的とし、栗原市で実施した防災訓練に栗原地域事務所も参加しました。



7.23

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)安全祈願祭を実施

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)の延長約1.7km区間における工事の本格的着工に先立ち、安全祈願祭が開催されました。



7.30

みやぎ県北幹線道路(築館工区)全事業区間の計画同意

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)の計画への未同意区間に関して説明会を実施し、計画について地元の同意を得ました。

8.10

道路ふれあいグリーンキャンペーンを実施

栗原地域事務所と宮城県建設業協会栗原支部の共同で実施し、約80名が参加して、管内の道路清掃を実施しました。

8.21→9.7

建築防災週間に係る防災査察

火災発生防止を目的に、農家民宿などの簡易宿所を対象に7件の防災査察を実施しました。

防災査察は栗原市消防署と合同で行い、建築物の維持保全の状況や、防火・避難施設の設置状況、設備機器の作動の状況などを確認し違反者には是正指導をしました。

岩手・宮城内陸地震に伴う土砂災害で被災した耕英東地区において、地域住民や関係団体及び官庁により組織された「くりこま絆の森植樹プロジェクト」による植樹活動が実施されました。

この取組は、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたもので約60名が参加しました。



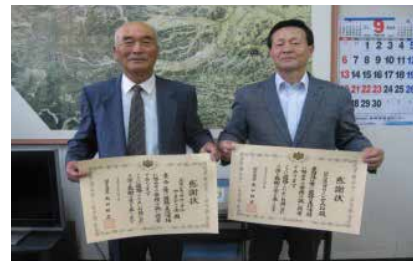
9.7

道路愛護等に係る大臣表彰伝達式

道路愛護等に携わっている2団体の活動に

対しまして国土交通大臣表彰があり、その伝達式を行いました。

両団体はスマイルロードサポーターとしてもご活躍されています。



10.15

熊川橋の迂回道路工事が完成熊川橋仮橋開通

関東東北豪雨により流失した主要地方道栗駒岩出山線熊川橋について被災から1ヶ月で仮橋を含む迂回道路工事を完成し、供用開始しました。

10.21

くりこま絆の森植樹プロジェクトを実施

北部土木事務所栗原地域事務所ですマイルサポーターとの意見交換会を実施しました。

今後の道路及び河川管理に活かしていただける意見等が数多く出され、お互いにとって有意義な場となりました。

11.16→12.18

関東・東北豪雨災害査定

9月9日から9月11日にかけて発生した関東東北豪雨により被災した公共土木施設の災害査定を受け、157件約22億円の査定決定を受けました。

被災箇所については早期復旧に向けて取組んでいきます。



H28.2.18

スマイルサポーターとの意見交換会を実施

北部土木栗原地域事務所

平成28年度の記録

4.22

冬期通行止め開通国道398号開通式

国道398号、主要地方道築館栗駒公園線の冬期閉鎖区間を開通しました。国道398号では栗原市と秋田県湯沢市の共催により開通式が開催されました。

6.19

栗原市総合防災訓練への参加

「平成20年岩手・宮城内陸地震」の経験と記憶を後世に伝え、また、大規模自然災害の発生に備え、被害の未然防止と軽減を図ることを目的とし、栗原市で実施した防災訓練に栗原地域事務所も参加しました。今後も市と連携しながら栗原地域の防災に努めてまいります。

6.24

二迫川・芋塚川点検結果説明会の実施

平成27年9月10日から11日にかけての「関東・東北豪雨」により、決壊した二迫川・芋塚川について堤防緊急点検を実施し、「二迫川・芋塚川堤防点検結果説明会」を開催しました。

7.30

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)全ての橋梁工事に着手

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)につきましては、4箇所の橋梁を計画しており、平成27年度までに2橋に着手しておりました。残る2橋の橋梁についても工事を契約し、事業区間の全ての橋梁に着手しました。



8.10

道路ふれあいクリーンキャンペーンを実施

栗原地域事務所と宮城県建設業協会栗原支部の共同で実施しました。当日は約90名が参加して管内の道路清掃を行いました。

10.17

一級河川荒川改修事業及び主要地方道築館登米線道路改良事業計画説明会の実施

近年の度重なる豪雨に伴う洪水により、一級河川荒川が氾濫し、主要地方道築館登米線や周辺田畑が冠水する被害が生じていることから、関係地権者を対象に事業説明会を開催しました。

10.21

くりこま絆の森植樹プロジェクトを実施

平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害で被災した耕英東地区において、地域住民、関係団体等による植樹活動が実施されました。この取組は、失われた緑地の再生と堆積した土砂の流出防止を図ることを目的としたものであり、約80名が参加しました。

11.25

若柳第二大橋橋梁耐震化事業完成

若柳第二大橋は昭和58年3月に架設され、供用後30年が経過しているため、平成26年度から橋梁の耐震化工事を実施し、3ヶ年で完成しました。



11.26

栗駒山系直轄砂防事業完成式への参加

平成20年6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」に伴う土砂災害に対し、岩手・宮城両県知事からの要請により、国(直轄)による土砂災害対策が進められ、このたび両県内のすべての土砂災害対策工事が完了となりました。これを記念し、『栗駒山系直轄砂防事業完成式』が執り行われました。

H29.1.26

みやぎ県北高速幹線道路築館工区で初となる上部工主桁架設の完了

みやぎ県北高速幹線道路(築館工区)で計

画している4橋の橋梁の中で初となる上部工の主桁架設が萩沢前2号本線橋で完了しました。

引き続き、平成30年度の供用開始に向けて事業の進捗を図ってまいります。

2.17→21

国道398号 冬期閉鎖区間予備除雪

国道398号における冬期閉鎖区間の早期解除を目的に、「春先除雪」に先駆け、閉鎖区間14.4kmのうち約9.6kmの「予備除雪」を実施しました。

3.3

関東東北豪雨による堤防決壊箇所の工事完成

平成27年9月にかけて発生した「関東・東北豪雨」により、栗原管内の河川144箇所まで被災を受けましたが、そのうち7箇所の堤防で決壊が生じました。決壊した7箇所については優先的に工事を進めずすべての本復旧工事が完了しました。



3.28

岩ヶ崎道路改良事業完成急カーブ区間の解消

平成24年度から旧栗電踏切跡の急カーブ解消を目的に事業を進めてきた岩ヶ崎道路改良事業が完成しました。これにより、急カーブが解消され円滑な交通が確保されるとともに歩道の設置により歩行者の安全性も向上しました。



4.21

冬期通行止め解除 国道398号開通式

国道398号と(主)築館栗駒公園線の冬期閉鎖区間が開通し、国道398号では、栗原市と秋田県湯沢市の共催により、花山温湯ゲート前で開通式が開催されました。

なお、(一)岩入一迫線は、28日に冬期閉鎖区間が開通しました。

6.18

栗原市総合防災訓練への参加

平成20年岩手・宮城内陸地震等の経験と教訓を後世に伝え、大災害に備えるとともに、被害の未然防止や軽減を図る目的で防災訓練を実施しています。当事務所では、平成27年9月の関東・東北豪雨被害や復旧状況、土砂災害防止に向けた取組等をパネル展示し、市民への防災意識の醸成を図りました。

7.31

迫川小川原砂防堰堤工事の完成

平成20年6月の岩手・宮城内陸地震では、山地斜面の崩壊により、不安定な土塊が渓床に堆積し、流出の危険性がありました。平成24年度より整備を進めてきた迫川上流域の小川原砂防堰堤工事が完成し、下流への土砂流出防止対策の推進が図られました。



8.9

一級河川荒川改修事業と(主)築館登米線萩沢道路改良事業の用地説明会を開催

洪水時の氾濫防止と安全な通行確保を図るため、荒川改修と県道築館登米線改良事業の用地説明会を開催しました。関係地権者の了解が得られ、用地取得を推進し、年度内に工事を発注しました。

8.17

栗駒有賀沢急傾斜地対策工事の完成

平成25年7月の豪雨で斜面が崩壊した栗

駒有賀沢地区において、再度災害の防止と地域の安全・安心の確保を図るため、平成26年度より進めてきた急傾斜地崩壊対策工事が8月に完成しました。

8.18

道路ふれあいキャンペーンの実施

当事務所と宮城県建設業協会栗原支部より約100名が参加し、県管理道路の清掃作業や街頭にてドライバーへのチラシ配布等の活動を行いました。

栗原支部では昭和63年から実施しており、今年で29回目となりました。

10.3

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)後沢本線橋上部工主桁の架設完了

NEXCO東日本に委託の東北自動車道を跨ぐ後沢本線橋上部工は、築館IC～若柳金成ICを夜間通行止めにして、国内に数台しかない1,250t級クレーンにより一括架設が行われました。大型構造物の整備として、工区最大の難工事を無事完了することができました。

10.18

くりこま絆の森植樹プロジェクトの実施

平成20年6月14日の「岩手・宮城内陸地震」に伴い、大規模な土砂災害に遭った耕英東地区において、緑地再生と堆積土砂の流出防止を図るため、平成25年より地域住民や関係団体等による植樹活動を実施しております。今年は約100名が参加し、カツラやミズナラなどの苗木を植樹しました。

11.30

国道398号湯浜スノーシェッド本体工事が完了

冬期閉鎖区間に位置する「なだれ沢」は、春先に雪崩が発生しやすいため冬期閉鎖解除の障害となっていました。平成26年度より整備を進めてきたスノーシェッド本体が完了し、春先の安全確保に向けた取組を推進させました。

12.25

迫川若柳狭窄部の旧堤防撤去が完成

長沼ダム完成に併せ平成24年度より着手した迫川の若柳大橋上流における旧堤防

撤去が完成しました。引き続き、上流域の河道掘削を推進し、流域の治水安全度向上を図ります。

H30.1.23→25

土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会の開催

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査が完了した築館や栗駒地区等の19箇所について住民説明会を開催しました。

説明会の箇所を含め、今年度は89箇所が土砂災害警戒区域等に指定されました。



1.31

一般県道大鳥沢辺線稲屋敷交差点改良の完成

栗駒稲屋敷地内は、一般県道大鳥沢辺線など3路線が集まる要衝ですが、幅員が狭いため車両のすれ違いが困難な状況でしたが、交差点改良により、安全で円滑な通行が確保されました。

1.31

河川工事で発生した伐採木の一般提供の再開

東日本大震災に伴う福島第1原発事故以降、放射性物質の影響を懸念し休止していた伐木の一般提供について、放射能調査結果が基準値を下回ったため一般提供を再開しました。ホームページ等で広報したところ、20件を超える申込みがありました。

3.14

みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)萩沢前1号本線橋上部工主桁の架設完了

平成28年度より整備を進めてきた萩沢前1号本線橋の上部桁架設が完了しました。



北部土木栗原地域事務所

平成30年度の記録

4.27

冬期通行規制解除 国道398号開通式

国道398号と(主)築館栗駒公園線、及び(一)岩入一迫線の冬期通行規制区間が開通し、国道398号では、栗原市と秋田県湯沢市の共催により、花山温泉ゲート前で開通式が開催されました。

5.28→6.26

H20年6月「岩手・宮城内陸地震」から10年の歩みをパネル展示

平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震から10年を迎え、被災からの復旧・復興経過や、地震の経験や教訓を後世へ伝承し、防災意識の醸成を図るため、国土交通省北上川下流河川事務所及び栗原地方ダム総合事務所より資料の協力をいただき、県庁や栗原市役所のロビー、栗原市主催の追悼式典及び栗原市総合防災訓練会場において、パネル展示を行いました。

5.30

H29年5月に発生した林野火災で焼失した本木地すべり区域の斜面对策工事の完了

平成29年5月8日に築館上宮野地区で発生した林野火災では、本木地すべり防止区域の斜面約1.2haが焼失しました。焼失した斜面では、掘削や法覆工等、土砂災害防止を図るための斜面安定化工事を行い、平成30年5月に完了しました。

6.28

(主)栗駒岩出山線熊川橋の災害復旧工事完了

平成27年9月の関東・東北豪雨で落橋する甚大な被害を受けた熊川橋では、被災後仮橋及び仮設道路により通行を確保しながら、災害復旧工事を進めてきましたが、平成30年6月に完了しました。

7.10

「みやぎ県北高速幹線道路(Ⅳ期区間)(築館工区)萩沢忽滑沢本線橋の上部桁架設完了

平成28年度より整備を進めてきた萩沢忽滑沢本線橋の上部桁架設が完了しました。今回の桁架設で、当区間の橋梁4基全ての桁架設が完了しました。

7.31

(主)築館栗駒公園線柳沢橋の拡幅工事完了

平成30年7月に栗駒国定公園は指定50年を迎え、今後一層の観光振興が期待されています。栗駒沼倉地内における柳沢橋の拡幅工事が完了し、大型車が円滑にすれ違えるようになり、安全な通行が確保されました。



8.24

「道路ふれあいキャンペーン」の実施

当所と宮城県建設業協会栗原支部では、昭和63年より県管理道路の清掃作業や街頭活動としてドライバーへのチラシ配布等を行っており、今年で30回目になります。今年は事務所職員及び栗原支部より約100名が参加し、清掃や街頭活動を行いました。

9.7

「(仮称)栗原IC」整備に関する事業説明会の開催

「みやぎ県北高速幹線道路」と東北縦貫自動車道との相互乗り入れを可能にする新たなインターチェンジの整備について、8月10日に国土交通省より許可されたことから、地元住民に対し事業説明会を開催し、事業概要等について説明しました。

10.17

「くりこま絆の森植樹プロジェクト」の実施

平成20年6月14日の「岩手・宮城内陸地震」により、大規模な土砂災害に遭った耕英東地区では、平成25年より堆積土砂の流出防止と緑地の再生に向け、地域住民や関係団体等による植樹活動を実施しており、今年で6回目になります。今年は約100名が参加し、カツラやハンノキ等の苗木約1,000本を植樹しました。



11.21→12.13

土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会の開催

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査結果に基づく住民説明会を開催

しました。今年度は137箇所が土砂災害警戒区域等に指定されるとともに、基礎調査を全て完了させ、次年度に警戒区域等の指定が完了する見込みとなりました。

11.30

一級河川荒川河川改修事業と(主)築館登米線萩沢道路改良事業の工事着手

築館萩沢地区の荒川河川改修事業と(主)築館登米線道路改良事業において、用地取得が完了した右岸側の地盤改良等に着手し、平成30年11月に完了しました。引き続き、洪水時の氾濫防止と安全で快適な通行確保の早期実現に向け、工事を推進してまいります。

R1.1.30

H27年9月関東・東北豪雨及びH29年10月台風21号による被災箇所の復旧完了

平成27年9月の関東・東北豪雨により被災した196箇所のうち、関係機関との調整で遅れていた5箇所の復旧工事について、熊川橋が6月に完了したのに加え、河川災害の4箇所が1月に完了しました。また、平成29年10月の台風21号により被災した8箇所についても1月に復旧が完了し、当所の災害復旧工事全てが完了しました。



3.29

河川内支障木伐採で発生した伐木の一般提供

河川の流水を阻害する支障木の伐採促進と、伐木の有効活用を図るため、放射能調査結果が基準値を下回る伐木を対象に、今年度も一般提供を実施しました。1月にホームページ等で広報したところ、50件を超える申込みがあり、引き渡されました。



4.26

冬期通行規制解除 国道398号開通式

(主)築館栗駒公園線は23日に、国道398号と(一)岩入一迫線は三日後の26日に冬期通行規制区間を開通させました。国道398号は今年度もGW前に、栗原市と湯沢市の共催により、花山温湯ゲート前で開通式が開催されました。

6.9

「みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)」の開通式(供用開始)

築館工区(Ⅳ期)は、築館東ICから栗原市中心部の国道4号築館バイパスまでの約1.7kmの区間であり、平成25年度より整備を進めてまいりました。今回の開通により、栗原市・登米市間のアクセス向上や栗原圏域と登米圏域の交流や連携の強化及び栗原市中心部の交通渋滞の緩和が見込まれます。



6.18

「土砂災害危険箇所パトロール」の実施

毎年「土砂災害防止月間」である6月に、県民に土砂災害の危険性を認識してもらうことを目的として、宮城県砂防ボランティア協会・栗原市・宮城県合同で土砂災害危険箇所合同パトロールを実施しています。今年度は6月18日に栗駒地区3箇所、若柳地区4箇所、一迫地区3箇所、花山地区3箇所のパトロールを実施しました。

7.29

「2019夏休み!小学生と保護者の親子現場見学会」の開催

未来を担う子ども達に土木事業や工事現場等を知り、関心を持っていただくため、栗原管内の小学生とその保護者を対象に、親子現場見学会を開催しました。今年の見学会では、32名(子供18名、保護者14名)の参加者で「迫川河道掘削工事(その2)」の工事現場で、工事の説明や現

場見学のほか、建設機械への搭乗体験、測量器械を使っでのゲームなどを行いました。

8.7

「道路ふれあいキャンペーン」の実施

当所と宮城県建設業協会栗原支部では、昭和63年より県管理道路の清掃作業や街頭活動としてドライバーへのチラシ配布等を行っており、今年で31回目になります。今年は気温30度を超える中、事務所職員及び栗原支部より約100名が参加し、清掃や街頭活動を行いました。

8.9

(都)源光町田線 道路改良工事完了

当該区間は、未改良区間 L=200mについて平成26年度から歩行者の安全性向上及び交通の利便性の向上を図るため、現道拡幅工事を行いました。通学児童等歩行者の安全性向上及び築館地区中心部の交通の利便性の向上を図るとともに、地域の活性化に寄与するものです。

8.23→11.20

土砂災害防止法に基づく基礎調査結果説明会の開催

土砂災害警戒区域等の早期指定に向け、基礎調査結果に基づく住民説明会を開催しました。今年度は、花山地区等5地区の74箇所について説明会を行い、平成16年度から実施していた基礎調査がすべて完了し、栗原管内において532箇所の区域指定を行いました。今後は、法律の定めにより5年ごとに調査を行うことになっていることから、地形条件の改変等の確認(概略調査)と変状のあった箇所の再調査(詳細調査)を実施し、逐次、区域の見直しを継続していく予定です。

10.30

「くりこま絆の森植樹プロジェクト」の実施

平成20年6月の「岩手・宮城内陸地震」による犠牲者の鎮魂と失われた緑地の再生、堆積した土砂の流出防止を目的に、土砂災害により被災した耕英東地区(駒の湯温泉)において、植樹会を開催しました。この取組は平成25年から実施しており、今年は地域住民や関係団体等、約90名が参加し、

ブナやナラ、ハンノキ等の苗木約800本を植樹しました。

12.6

1号スノーシェッド延伸工事完成

(国)398号の4箇所のスノーシェッドのうち、3箇所について雪崩の緊急性の高い箇所から延伸工事を進めています。令和元年度には、平成30年度から進めていた1号スノーシェッド起点側約20mについて完成しました。



R2.2.12

若柳大橋外耐震補強工事の推進

(一)有壁若柳線の若柳地区で迫川を渡河する、若柳大橋外橋梁耐震補強工事については、平成30年度末より着手しています。耐震補強工事等については、P1橋脚を除く上下部工工事等が進んでいます。写真は、P1橋脚の耐震補強工事を施工するために仮橋の施工をしているところですが、令和2年度中の工事完成を目標に若柳大橋耐震補強工事を推進しています。



3.27

萩沢土橋歩道設置工事一部完成

(主)河南築館線の萩沢土橋では、延長約990mの区間において、歩道設置工事を進めています。令和元年度は、延長約260mの歩道造成及び延長約60mの擁壁工が推進されました。



北部土木栗原地域事務所

令和2年度の記録

4.17

冬期通行規制解除 国道398号開通式

(国)398号と(一)岩入一迫線は4月17日に、(主)築館栗駒公園線は5月7日に冬期通行規制を解除しました。

(国)398号では、新型コロナウイルス感染症に配慮し、秋田・宮城両県の関係者のみで、花山温湯ゲート前にて開通式を開催しました。

6.12

「6.12防災訓練」の実施

「東日本大震災」規模の地震を想定した初動対応等について、各年代の職員(プレイヤー)16名が訓練に参加し、被害状況の把握や関係機関との情報伝達等に加え、建設業団体との連絡調整や想定被災箇所の現地確認等、より実践的な訓練を行いました。



6.18

「土砂災害危険箇所パトロール」の実施

毎年「土砂災害防止月間」である6月に、県民に土砂災害の危険性を認識してもらうことを目的として、宮城県砂防ボランティア協会・栗原市・宮城県合同で土砂災害危険箇所合同パトロールを実施しています。

今年度は6月18日に栗原市内15箇所(金成地区4箇所、若柳地区3箇所、鶯沢地区4箇所、花山地区4箇所)のパトロールを実施しました。

8.6

「道路クリーンキャンペーン」の実施

当所と宮城県建設業協会栗原支部では、昭和63年より県管理道路の清掃作業や街頭活動としてドライバーへのチラシ配布等を行っており、今年で32回目になります。今年度は気温30度を超える中、事務所職員及び栗原支部より約100名が参加し、清掃や街頭活動を行いました。

9.30

みやぎ県北高速幹線道路(仮称)栗原インターチェンジ用地説明会

みやぎ県北高速幹線道路と東北自動車道を直接連結する(仮称)栗原インターチェンジの整備について、詳細設計・用地測量が完了したことから、地元地権者に対し用地説明会を開催し、事業概要・用地買収手続き等について説明しました。

10.7

若柳大橋外耐震補強工事の完了

(一)有壁若柳線の若柳地区で迫川を渡河する若柳大橋は、緊急輸送道路(2次)に位置しており、耐震性能の確保を図るため、平成30年度末より耐震補強工事を実施してきました。橋脚のひび割れ補修や断面修復を行い、炭素繊維シート巻立てにより橋脚を補強する等の工事が完了しました。



10.28

「くりこま絆の森植樹プロジェクト」の実施

平成20年6月の「岩手・宮城内陸地震」による犠牲者の鎮魂と失われた緑地の再生、堆積した土砂の流出防止を目的に、土砂災害により被災した耕英東地区(駒の湯温泉)において、植樹会を開催しました。

この取り組みは平成25年から実施しており、今年度は地域住民や関係団体等、約90名が参加し、ブナやナラ、ハンノキ等の苗木約800本を植樹しました。

12.3

瀬峰川河川災害復旧工事の完了

令和元年東日本台風(台風19号)により破堤等の大きな被害があった瀬峰川の河川災害復旧工事が完了しました。



12.7

2号スノーシェッド延伸工事の一部完成

(国)398号の4箇所のスノーシェッドのうち、3箇所について雪崩対策の緊急性の高い箇所から延伸工事を進めています。

令和2年度には、平成30年度から進めていた2号スノーシェッドの終点側(秋田県側)約36m区間が完成しました。



R3.3.10

迫川若柳狭窄部の河道掘削完了

洪水被害の拡大防止を図るため、平成24年度から迫川の河道掘削工事を実施してきました。

今回、若柳狭窄部の河道掘削が完了したことにより、整備計画規模の流下能力を確保することができました。



3.18

「栗駒山 火山BCP訓練」の実施

将来発生する可能性がある火山噴火への防災対応力の強化、防災意識の向上、初動体制の充実等を図るため、火山災害対応担当者等を中心に、業務継続計画(BCP)火山編(栗駒山対応版)に基づき、グループワークや情報伝達訓練を実施しました。



東部土木事務所の記録

平成24年度の記録

4.17

(一) 牡鹿半島公園線本復旧工事着手

路線延長L=33.8kmのうち約9割以上がクラック・法面崩壊等被災を受けた一般県道牡鹿半島公園線において本復旧工事に着手しました。第1段階としては起点から小積インターまでの約L=10.0km区間を復旧し早期規制解除を目指します。



▲【23災5554号復旧状況】補強土壁工



▲【23災5326号復旧状況】吹付法砕工

5.19

長渡海岸災害復旧工事完了

石巻市網地島長渡海岸は、東日本大震災により発生した津波によって大きく地盤が削られ、上部にある民家の一部が崩れるなど大きな被害が生じました。また1m近く地盤沈下が生じ波浪が直接地盤にあたることとなり、海岸線の浸食が進行する恐れがあることから緊急的に災害復旧工事を実施しました。現在は海岸堤防が整備され、民政の安定・国土保全が果たされています。



▲被災状況



▲復旧前



▲復旧後

5.31

(国) 398号「女川橋」応急復旧工事完了

東日本大震災により流出した「女川橋」について、一時は自衛隊により盛土され通行可能となりましたが、大雨時に冠水し市街地復旧の支障となっていました。5月31日に仮橋が完成したことから、梅雨や台風による冠水被害が軽減されました。



▲女川橋(仮橋)

6.28

白浜海岸災害復旧工事 丁張・事業説明看板設置

相川沢川災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地に丁張りとし事業説明看板を設置しました。

7.10

定川災害復旧工事 説明看板および丁張りの設置

定川災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地の2箇所に事業概要看板と3箇所に丁張りを設置しました。



▲看板設置



▲丁張り設置

7.17→18

定川災害復旧事業説明会

地域住民の参加者数は18日52名、19日70名、合計122名にのぼり、県議会議員、東部地方振興事務所農業農村整備部、東松島市などの関係者にも参加していただきました。



▲7.18 赤井地区市民センター



▲7.19 大曲地区センター

8.10

南北上運河看板及び丁張りの設置

南北上運河災害復旧事業を住民により理解してもらうため、現地に事業概要看板と丁張りを設置しました。

9.8

(一)石巻北インター線 着工式

国土交通省東北地方整備局、宮城県及び石巻市は平成24年9月8日(土)に三陸沿岸道路の「石巻インターチェンジ」及び「県道石巻北インター線」の着工式を開催しました。着工式には主催者を代表して村井知事、東北地方整備局徳山局長及び石巻市亀山市長、また来賓として安住淳財務大臣(衆議院議員)、金田石巻赤十字病院長など約40名が出席しました。



9.22→23

都市計画道路矢本流留線の変更に関する説明会

多重防御施設となる矢本流留線の都市計画道路の変更に関する説明会を、石巻市は9月22・23日に東松島市は9月22日に開催しました。

10.12

大曲海岸・白浜海岸・長浜海岸・長塩谷立神災害復旧工事実施保留解除

10.16

(一)釜谷大須雄勝線 釜谷道路災害復旧工事説明会

長面地区の災害復旧事業の為に工事車両が増加することから、支障となる幅員狭小区間の拡幅と舗装を実施するため部分着手にあたり工事説明会を実施しました。今回の説明会は、基本的には現道路敷内の工事ですが、盛土の実施にあたり道路境界内での施工が困難な釜谷地区を対象に盛土の盛りこぼしに伴う土地の協力のため実施したもので20名の方に出席いただき協力を得ました。

10.17

定川河川災害復旧工事の着工式

二級河川定川の河口部については、東日本大震災で内陸深くまで遡上した津波により堤防が破堤し応急工事を行いました。この度、破堤箇所の本復旧工事に着手することになりました。



▲挨拶(三浦副知事)



▲鍬入れ状況

11.17

石ノ森漫画館の再開に併せて(国)398号西内海橋の歩道を復旧

東日本大震災で被災した石巻市の「石ノ森漫画館」が約1年8カ月ぶりに再開しました。再開に併せて、同じく被災した西内海橋の歩道を復旧しました。



▲内海橋歩道橋復旧後

12.5→21

真野川外河川災害復旧工事 説明会

石巻市の真野川災害復旧工事について、関係する14地区で説明会が行われました。該当河川は地盤沈下分の堤防嵩上げが実施されます。

12.6→20

(国)398号湊道路改良事業の説明会 開催

(国)398号湊道路改良事業の説明会を地元の町内会毎に行いました。

12.11

東侍浜海岸・仁戸田海岸災害復旧工事実施保留解除

12.17→20

大沢川外「皿貝川・中島川」災害復旧事業の説明会

大沢川外「皿貝川・中島川」災害復旧事業について、地元住民に対する説明会を開催しました。

12.20

新不動橋災害復旧工事実施保留解除

H25.1.20

石巻市十八成地区の説明会

石巻市十八成浜地区の高台移転計画の説明会に併せて、復興道路及び淀川災害復旧計画を地元住民に説明しました。

1.28

石巻港インター線実施保留解除

2.6

女川・清水田海岸・大原海岸・谷川海岸・横須賀海岸・鰐ヶ淵海岸実施保留解除

2月中旬

災害復旧工事の状況



▲定川破堤部の鋼管矢板打設状況



▲大曲海岸のブロック製作状況

4.18,24

(都)矢本大曲線復興道路事業に関する事業説明会

5.9,10

高木川災害復旧事業石崎橋架替事業に関する事業説明会

5.9,13,17

管内市町との災害復旧・復興連絡調整会議



5.14,16

内海橋災害復旧事業に関する事業説明会

5.15,21

「道路橋の耐震設計」の職場研修

5.31

富士川災害復旧事業に関する工事説明会

6.12

県議会建設企業委員会が管内の復旧状況を視察

6.26

湊川災害復旧事業に関する事業説明会

6.28

加茂川災害復旧事業に関する用地説明会

7.3

(市)屋敷浜猪落線((主)石巻鮎川線風越Ⅱ工区関連)に関する事業説明会

7.17

東部管内建設資材及び盛土材連絡調整会議

7.25

(国)398号石巻バイパス事業に関する事業・用地説明会

7.29

(都)門脇流留線復興道路事業に関する事業説明会

7.30

(国)398号相川工区復興道路事業に関する事業説明会

8.1

(主)女川牡鹿線小乗浜工区復興道路事業に関する事業説明会

8.5,6,7,25

【復興】(都)門脇流留線復興道路事業に関する事業説明会

9.9

行政職員向け自然体験研修と災害訓練



9.12

(都)大街道石巻港線復興道路事業に関する事業説明会

9.27

(国)398号湊工区復興道路事業に関する事業説明会

10.1

コバルトライン(県道牡鹿半島公園線)の一部区間(小積跨道橋~大原跨道橋)が通行可能

10.21,22

(都)矢本大曲線矢本工区復興道路事業に関する事業説明会

10.23,24

(都)矢本大曲線大曲工区復興道路事業に関する事業説明会

11.6

管内の安全管理研修会の開催

11.8

古川工業高校の現場見学会

11.19,22

追波川災害復旧事業に関する工事説明会

11.19

(主)女川牡鹿線高白工区道路改良事業に関する説明会

11.26

(国)398号御前浜工区復興道路事業に関する説明会

11.27

(主)石巻河北線南境歩道設置事業に関する説明会

11.30

湊川災害復旧事業に関する説明会

12.4

八津川際涯復旧事業に関する説明会

12.5

石巻広域都市計画道路の都市計画変更に関する説明会

12.12

鮫浦・大谷川浜地区に関する事業説明会
(主)奥松島松島公園線宮戸工区復興道路事業に関する説明会

12.17

(主)奥松島松島公園線州崎工区復興道路事業に関する説明会

12.18

長浜海岸災害復旧事業に関する共有地相続説明会

12.19

(一)大塩小野停車場線上小松道路改良事業に関する説明会
東部管内建設資材及び盛土材連絡調整会議

12.24,25

(主)女川牡鹿線谷川浜工区復興道路事業に関する説明会

H26.1.15

北上運河河川災害復旧工事に関する安全祈願祭

2.24

折立海岸災害復旧工事の完成

2.25

加茂川河川改修事業に関する工事説明会

3.14

大原浜・給分浜地区に関する事業説明会

3.16

十八浜地区に関する事業説明会

3.17

清水田浜地区に関する事業説明会

3.25

東名運河災害復旧事業に関する事業経過説明会

東部土木事務所

平成26年度の記録

4.22

第1回女川町「出島架橋」連絡調整会議

4.30

コバルトライン(県道牡鹿半島公園線)の全線が通行可能

唯一全面通行止め区間であった大原跨道橋から山鳥ゲートまでの約1.1kmが通行可能(片交)となりました。

5.14

定川大橋災害復旧工事 安全祈願祭

5.27

釜谷崎防災集団移転団地完成

北上町女川釜谷崎で行われていた石巻市防災集団移転団地の第1号が完成し、式典に所長が出席しました。



6.4,5,9

管内市町との第1回災害復旧・復興連絡調整会議

6.5

復興道路 宮戸復興道路事業説明会

6.12

(一)石巻雄勝線 雄勝道路改良事業説明会

6.13

新北上大橋災害復旧工事 安全祈願祭

6.18

内海橋災害復旧事業説明会(用地含む)

6.19

北上運河河川災害復旧工事 安全祈願祭

7.10

第2回女川町「出島架橋」連絡調整会議

7.12

長石地先海岸事業説明会

7.24

門脇流留線 魚町工区事業説明会

8.7,8

復興道路 小乗浜復興道路事業説明会

8.28,29

自治法派遣職員派遣継続要請

9.9,10

復興道路 出島復興道路事業説明会

9.11

復興道路 鮫浦復興道路事業説明会

9.12

復興道路 大谷川浜復興道路事業説明会

9.16

社総交(復興) 高白道路改良事業説明会

9.29,30

復興道路 雄勝復興道路事業説明会

10.20

コバルトライン(牡鹿半島公園線)が全線全面通行開始

10.23

北海道東北ブロック人事課長会議(被災地視察)

10.26,27

門脇流留線 用地説明会

10.30

追波川・挟川災害復旧事業説明会

11.3

復興土地区画整理(新蛇田地区)住宅供給式典

11.4

第4回矢本海浜緑地再整備懇談会

11.14,18,21

管内市町との第2回災害復旧・復興連絡調整会議

11.15

復興土地区画整理(新渡波地区)住宅供給式典

11.27

復興まちづくり事業 現場研修会開催



12.2

石巻工業高校の現場見学会

石巻工業高校の土木システム科1年生と先生方が定川大橋災害復旧工事の現場を見学しました。

H27.1.9

石巻地区建設工事関係者労働災害防止連絡会議

1.22

州崎地先外災害復旧工事 安全祈願祭

1.23

復興道路 湊復興道路用地説明会

1.29

石巻・東松島地区復興防災基盤連絡調整会議

2.6

大原川河川災害復旧工事 安全祈願祭

2.7

門脇流留線(魚町工区) 事業説明会

2.12

(都)門脇流留線 魚町工区 安全祈願祭

3.7

復興まちづくりパネル展in東京スカイツリー

3.21

おながわ復興まちびらき 2015春 式典

4.23

南北上運河外河川災害復旧工事 (その1)安全祈願祭

南北上運河及び北北上運河の復旧工事を施工者主催により地元県議及び東松島、石巻市両市長出席のもと安全を祈願しました。

4.24

中津山道路改良事業 BP開通式



4.7,14,22

管内市町との災害復旧・復興連絡調整会議

復旧・復興事業を円滑に推進するための情報共有と事業調整を行うため、管内市町と災害復旧・復興連絡調整会議を開催しました。

5.7

第4回女川町「出島架橋」連絡調整会議

5.27

定川河川災害復旧工事(その4) 安全祈願祭

6.3

定川河川災害復旧工事(その4) 説明会

6.10

(一)河南南郷線 軽井沢道路改良 事業説明会

6.16

雄勝復興道路事業説明会

6.25

野蒜地区災害復旧事業説明会

6.30

西沢川河川改修事業説明会

7.4

立町二丁目5番地区市街地再開 発事業地鎮祭

7.9

出前講座(石巻工業高校)

7.17

(都)矢本門脇線用地説明会(大曲 地区)

7.27

(都)門脇流留線用地説明会

8.6

(都)矢本門脇線用地契約会(大曲 地区)

9.2,3

自治法派遣職員継続要請

復旧・復興事業のマンパワー不足を補うため、引続き継続した職員の派遣について群馬県及び埼玉県を訪問し、要請してきました。

9.10

長石地先海岸工事説明会

9.24

谷川浜復興道路事業・用地説明 会

10.5

(一)石巻女川インター線 開通式

10.14

高木復興大臣管内視察(石巻市・ 東松島市)

11.2

石巻工業高校の現場見学会

古川工業高校の土木情報科1年生から3年生の生徒と先生方が管内における災害復旧工事や復興まちづくり事業の現場を見学しました。

11.3

石巻市まちびらき(新蛇田地区)

11.5

東侍浜海岸災害復旧工事 竣工式



11.12

石巻市市街地復興工事調整会議

12.3

事業説明会(大瓜BP事業認定)

12.16

事業説明会(復興道路小網倉事業 認定)

12.17

復興まちづくり事業 現場研修会

気仙沼土木事務所管内の各復興まちづくり事業について、課題やその解決方法など、現場を通じ説明をいただきながら、職員の知識を広げる目的で開催しました。

12.23

おながわ復興まちびらき 2016 冬 式典

H28.1.28

大震災復興調査特別委員会 管内 調査

2.5,18

飯子浜復興道路用地説明会

2.9

平成27年度東北河川技術研修 (州崎海岸)

2.21

安倍総理大臣管内視察(石巻市・ 女川町)

3.26

女川復興復興祭 2016

3.26

JR仙石線 あゆみ野駅開業

東部土木事務所

平成28年度の記録

4.12

浪分桜お披露目会・桜見納め会を開催

平成28年4月12日、石巻市蛇田の石井閘門付近に植樹した2本の浪分桜のお披露目会を開催いたしました。合わせて、テング巢病のため伐採する5本の桜の見納め会を実施しました。

5月～6月

市町と復旧復興連絡調整会議を開催

平成28年5月23日(東松島市)、24日(女川町)、6月2日(石巻市)の3日間をかけて、管内各市町との復旧復興連絡調整会議を実施しました。



6.10

(国)398号新北上大橋が開通

新北上大橋は、東日本大震災の津波により、北上川左岸側の2径間が流出するなど甚大な被害を受け、災害復旧事業により復旧工事を進めてまいりました。新橋の架設により、車道部を開通しました。

6.10

6.12防災訓練を実施

宮城県震災対策推進条例に定める「みやぎ県民防災の日」(6月12日)に合わせて、総合防災訓練を実施しました。

7.15

「釜閘門」遺構調査現場見学会を開催

津波により出土した、歴史的に貴重な遺構を広く知っていただくため、地域住民を対象とした現地見学会を開催しました。明治時代に造られた木製閘門跡や稲井石で積まれた護岸、護床等の構造を間近でご覧いただきました。

7.28

(仮)相川トンネル工事に着手

相川復興道路の一部区間である(仮)相川トンネル工事の着手を前に、施工者である(株)橋本店の主催により、安全祈願祭が執

り行われました。関係者約50名が参列し工事の安全を祈願しました。

8.31

(仮称)高白トンネルが貫通

(主)女川牡鹿線の(仮称)高白トンネルが貫通しました。通り初めが行われたほか、鏡開き、万歳三唱などによりトンネル貫通を祝しました。

また、トンネル名称も『五部浦(ごぶうら)第二トンネル』に決定しました。



9.16

矢本海浜緑地に着手

子供から大人まで楽しめる「広場ゾーン・遊びゾーン・レクリエーションゾーン」を整備するほか、芝生広場をパークゴルフ場として整備します。また、防災ゾーンには築山を整備、災害時には利用者や周辺の事業者などの緊急的な避難先とし、防災機能の面も併せ持った公園です。

10.15

北上運河河川災害復旧工事が竣工

沿岸部の河川災害復旧第1号の完成として、地域の方をはじめとする関係者への感謝の意を表するため、竣工式を開催しました。国土交通大臣政務官、国会議員6名をはじめ、県議会議員や国、東松島市の来賓を含め、120名の方の参加をいただきました。



10.17

(仮称)鎮守大橋橋梁下部工工事に着手

都市計画道路「南光湊線」の旧北上川に架かる全長536mの橋梁であり、橋が架かることにより道路ネットワークの強化、生活の利便性の向上、災害時における避難路及び緊急輸送道路としての機能が期待されています。

10.24

(仮称)相川トンネルが貫通

(国)398号の(仮称)相川トンネルが貫通しました。

重機械で貫通を行い、参加者からは「復興の光が見えた」とのお言葉をいただきました。また、鏡開きや万歳三唱などによりトンネル貫通を祝しました。



12.3

出島道路改良工事が竣工し、全線開通

一般県道出島線の現道は、「幅員が狭い」「カーブがきつい」「急勾配」であったため、通行に支障を来しており、また、異常気象時には倒木などで通行に支障をきたす状況もあり、昭和63年度に道路改良事業に着手し、今回全面開通に至りました。

H29.3.18

桜植樹会in北上運河を開催

10月に完成した北上運河において、桜植樹会を開催しました。

多くの方に参加いただき、それぞれ満開に咲く桜を思い浮かべながら丁寧に植樹していきました。

3.27

(仮称)小乗トンネル工事安全祈願祭

(主)女川牡鹿線の狭隘・線形不良区間解消を目的とした(仮称)小乗トンネル工事の、安全祈願祭を実施しました。

3.30

(都)門脇流留線安全祈願祭・着工式

石巻市中心市街地の高盛り土道路となる、都市計画道路門脇流留線の安全祈願祭・着工式を行いました。



5月～7月

市町と復旧復興連絡調整会議を開催

5月17日(東松島市), 23日(女川町), 7月5日(石巻市)の3日間をかけて, 管内各市町との復旧復興連絡調整会議を実施しました。

6.1

(国)398号・女川橋の供用を開始

二級河川女川に架かる女川橋(女川町女川浜地内)は, 東日本大震災の津波により流出しましたが, 新たに完成した女川橋(橋長42.4m)の供用を開始しました。

6.10

(仮称)浦宿橋下部工工事の安全祈願祭を開催

(一)女川牡鹿線の(仮称)浦宿橋下部工事において, 安全祈願祭を開催しました。女川町長をはじめ県及び町議会議員, 地元関係者など約30名に参加していただきました。

6.13

小乗トンネルの貫通記念式典を開催

小乗浜復興道路事業, (主)女川牡鹿線小乗浜工区(女川町小乗浜地内)において, 小乗トンネルの貫通に伴い貫通記念式典を開催し, トンネル貫通の儀を執り行ったほか, 鏡開き, 万歳三唱などによりトンネルの貫通を祝いました。

6.27

H28年度「全建賞」を受賞

当事務所の「新北上大橋橋梁災害復旧事業」が平成28年度全建賞を受賞しました。震災直後の壊滅的な状況の中で早期に応急仮橋を施工し, 恒久橋への復旧にあたっては, 大規模な横取り架設を約2ヶ月という短期間の通行止めにて無事完了させたことなどが評価され, 全建賞受賞となりました。



7.10

(国)398号・新相川橋の開通式を開催

新相川橋(石巻市北上町十三浜字相川地内)の供用開始にあわせ開通式を開催しました。テープカットに続いて地元石巻市立北上小学校の鼓笛パレードを先導に, 式典参加者による渡り初めを行い開通を祝いました。



7.21

東名海岸災害復旧事業が完成

東部土木事務所の事業量軽減のため, 平成28年9月より仙台土木事務所に担当していただいている東名海岸災害復旧事業(東松島市)が完成しました。仙台土木事務所の皆様, ありがとうございます。

7.26

親子現場見学会を開催

建設業界を身近に感じてもらうことを目的として, 建設業協会と共催で親子現場見学会を開催しました。

災害復旧工事の現場見学や建設機械に触れるなどの体験をしてもらい, 参加者から「貴重な経験だった」と好評を得ました。



9.14

総合体験学習会を開催

石巻市立山下中学校の1年生を対象にして総合体験学習会を開催しました。貞山運河, 東名運河などの歴史を説明した後, 北上運河でのカヌー体験をしました。



10.11

御前浜復興道路の開通式を開催

御前浜復興道路事業, (国)398号御前浜工区(女川町御前浜地内)の供用開始にあわせ開通式典を開催しました。女川町長をはじめ県議会及び町議会議員, 地元関係者など約50名に参加していただき, テープカット, くす玉開披等で復興道路の開通を祝いました。

11.7

女川町等との合同現場見学会を開催

技術の習得・継承を図るべく, 女川町役場・石巻港湾事務所・東部地方振興事務所(水産漁港部)・東部下水道事務所・東部土木事務所による合同現場見学会を開催しました。

H30.2.17

釜閘門の地元住民向け現場見学会を開催

北北上運河釜閘門(定川北閘門)の復旧工事は, 施工中に明治期に造られた木造閘門の一部が出土し, 「北北上運河釜閘門遺構調査委員会」を設置して保存方法を検討するなど施工にあたり多くの課題がありましたが, 閘門部分の工事が完了することから, 地元住民を対象とした現場見学会を開催しました。



3.12

事務所が合同庁舎へ移転

昭和38年4月に石巻土木事務所(当時)が石巻市門脇九軒町から石巻市東中里に移転されてから55年。東部土木事務所は, 東日本大震災を共に乗り越えた庁舎から石巻市蛇田の宮城県石巻合同庁舎へ移転しました。



東部土木事務所

平成30年度の記録

5月～6月

市町と復旧復興連絡調整会議を開催

5月17日(女川町), 31日(東松島市), 6月1日(石巻市)の3日間をかけて, 管内各市町との復旧復興連絡調整会議を実施しました。

5.22

村井知事が復興現場を視察

村井知事が「“みやぎの復興現場”訪問事業」の一環として, (一)石巻女川線, 浦宿道路改良事業(牡鹿郡女川町浦宿浜地内)の現場視察を行いました。



6.14

地元小学校で工事説明会を実施

石巻市立北上小学校の5年生14名に対し, 大沢川外災害復旧工事について, 工事の目的等について説明を行いました。また, 説明会後にはNPO法人ひたかみの里の指導によるカヌー体験教室も行われました。



7.1

矢本海浜緑地で桜の植樹を実施

整備中の矢本海浜緑地内のパークゴルフ場において, 関係者約50人が参加し桜の植樹を祝うセレモニー行われました。植樹された桜は, 東松島市パークゴルフ協会と親交のある横手市パークゴルフ協会から復興の願いを込めて寄贈されました。

7.21

定川災害復旧工事の竣工式を開催

東北地方太平洋沖地震に伴う津波により, 河口部の堤防が破堤するなど甚大な被害を受けた二級河川定川。平成24年10月から進めてきた災害復旧工事が完成したことから竣工式を開催しました。



7.26

親子現場見学会を実施

建設業への理解を深めてもらうため, 宮城県建設業協会石巻支部との共催で「2018夏休み!小学生と保護者の親子現場見学会」を都市計画道路 矢本門脇線 大曲道路改築工事の現場で開催しました。



7.26

五部浦第二トンネルの開通式を開催

(主)女川牡鹿線の高白道路改良事業(女川町高白浜地内)において, 事業区間内の五部浦第二トンネルが完成したことから, 開通式を開催しました。



8.7

環境アドバイザーによる現地検討会を開催

大沢川, 皿貝川, 北北上運河, 州崎海岸において, 環境アドバイザーの先生方による現地検討会を開催し, 災害復旧現場における環境配慮について助言・指導をいただきました。

10.27

全国運河サミットスタディツアー開催

『全国運河サミットinみやぎ』において, 「土

木遺産と復興の今を学ぶ」と題して, 管内の東名運河, 北上運河などを回るスタディツアーが行われました。

11.12

園児・児童を対象とした現場見学会を開催

11月12日, 定川大橋災害復旧工事の現場へ, 地元の「矢本はなぶさ幼稚園」の園児60人が現場見学に来てくれました。また, 11月28日には, 内海橋災害復旧工事の現場へ石巻市立石巻小学校6年生50人が現場見学に来てくれました。



11.17

(国)398号石巻バイパスⅡ期大瓜工区の供用を開始

(国)398号石巻バイパスⅡ期(大瓜工区)約3.4kmは, Ⅰ期(南境工区)に引き続き, 平成21年度に事業着手し, 事業用地の協力を頂きながら工事を進捗させ, 11月17日に供用を開始しました。



R1.1.29

研修「石巻の土木史を学ぶ」開催

石巻で土木行政に携わる者として知っておきたい「石巻の土木史」について, 郷土歴史研究家の邊見清二氏にご講演いただきました。



4.26

東松島市・矢本海浜緑地 開園

東日本大震災の被害により閉園していた「矢本海浜緑地」が、大曲浜地区に場所を移転して再開園しました。



7.9

石巻市・小網倉浜復興道路 開通

平成24年度より事業を進めてきた小網倉浜復興道路について、石巻市小網倉地区の防災集団移転地と清水田浜地区を結ぶ事業延長L=1.6kmが開通しました。



7.26

石巻市・親子現場見学会を開催

建設業への理解を深めてもらうため、宮城県建設業協会石巻支部との共催で「2019夏休み!小学生と保護者の親子現場見学会」を(仮称)鎮守大橋の現場で開催しました。



7.26

石巻市・ICT施工現場見学会を実施

南浜公園造成工事において、重機の3Dマシンコントロール・ガイダンスの導入やUAV進行管理などを導入しており、ICT施工・3次元化等の活用の参考とするため現場見学会を実施しました。



8.30

東松島市・南北上運河河川災害復旧完了

平成23年度に事業着手した南北上運河河川災害復旧事業について、事業延長L=2.2kmの整備が完了しました。



9.23

石巻市・南浜津波復興祈念公園で植樹祭を開催

市民団体が構成される参加型維持管理運営検討協議会が主催となる「第3回石巻復興の森づくり植樹祭2019」が開催され、約800人の参加者により約7,000本のクロマツなどの苗木を植栽しました。



10.10

東松島市・定川大橋 開通

東日本大震災の津波により上部工が流出する等甚大な被害を受けた、一般県道石巻工業港矢本線「定川大橋」が開通しました。



11.10

東松島市・東名水門自動閉鎖システム運用開始

通信ネットワークによる緊急時の自動水門閉鎖システムが北北上運河・東名水門において運用を開始しました。現地操作が不要となることから、安全かつ迅速・確実な水門閉鎖が可能となります。



R2.1.9

女川町・崎山トンネル 貫通式典を開催

一般国道398号の崎山地区において、トンネル本体の掘削が完了したことから、貫通式典を開催しました。



3.22

女川町・小乗浜復興道路 開通

平成24年度より事業を進めてきた小乗浜復興道路について、女川町小乗浜地区と高白浜地区を結ぶ事業延長L=1.2kmが開通しました。



東部土木事務所

令和2年度の記録

4.9

東松島市・上小松バイパス 供用開始

(一)大塩小野停車場線上小松地区は、人家連担地区で道路幅員も狭小、歩道未整備である本路線唯一の未改良区間でした。地域住民の交通安全確保などを目的としバイパス整備を行い、4月9日に供用を開始しました。



8.25

石巻市・金比羅橋連結式の開催

相川復興道路事業は、防災道路ネットワークの構築、地域間のアクセス向上などを目的とした延長約1.9kmのバイパス整備路線です。このうち延長251mの金比羅橋の整備が進み8月25日に橋梁の連結式を開催しました。



9.11

石巻市・内海橋 供用開始

11.5

女川町・(国)398号現場見学会の開催

事業管理課主催の「みやぎ建設産業架け橋サロン」の一環で、古川工業高校1年生を対象に女川町の(国)398号浦宿バイパスと崎山トンネルの現場見学会を開催しました。

R3.1.18

石巻市・伊勢畑復興道路 供用開始

東日本大震災で甚大な被害を受けた、石巻市雄勝町雄勝字伊勢畑地区の防災集団移転地と、周辺の漁業集落や防災集団移転地を接続する伊勢畑復興道路として1月18日に供用を開始しました。



1.28

石巻市・西中瀬橋 供用開始

東日本大震災により甚大な被害を受けた(国)398号「西内海橋」及び「東内海橋」は、現在より上流側(約100m)の位置に「内海橋」として再整備を行い、令和2年9月11日に供用を開始しました。中瀬へ渡る「西内海橋」は「西中瀬橋」に名称を替えて再整備を行い、令和3年1月28日に供用を開始しました。

3.23

東松島市・定川復興大橋 供用開始

定川復興大橋を含む(都)道路矢本門脇線は、東松島市矢本地区の国道45号から石巻市門脇地区に至る延長3.98kmの路線であり、東松島市と石巻市の沿線市街地、また大曲漁港と水産加工団地などを密接に連絡する主要幹線として整備を行い、3月23日に供用を開始しました。



3.23

東松島市・松ヶ島橋 供用開始

松ヶ島橋を含む(主)奥松島松島公園線は、東松島市宮戸室浜から松島町高城を結ぶ、特別名勝松島を巡る風光明媚な路線であり、本土と宮戸島を結ぶ唯一の路線です。洲崎海岸防潮堤事業との連携により整備を行い、3月23日に供用を開始しました。



3.28

石巻市・石巻南浜津波復興祈念公園 開園

「石巻南浜津波復興祈念公園」が3月28日に開園しました。県と市が整備した公園の中心に、国が国営追悼・祈念施設を設置したもので、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓の伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的に整備されたものです。

